

別添資料 2

第2次 安曇野市観光振興ビジョン

【関連データ・情報集】

令和4年8月

安曇野市

目次

◆ 観光をめぐる動向	1
◆ 観光政策等の背景	5
1. 国際的な観光政策	5
2. 日本の観光政策	7
3. 長野県の観光政策	9
◆ 観光を取り巻く現状と課題	13
1. 国際的な動向	13
2. 全国的な動向	15
3. 県や広域的な動向	17
4. 市の観光資源等状況	21
5. 市の観光動向	27

◆ 観光をめぐる動向

平成 17 年 10 月の本市発足以降、さまざまな分野におけるまちづくりについて、諸計画の推進等を通じ取り組んできました。また、観光関連では、国における観光立国推進基本法の成立や観光庁の発足を契機として、多様な観点からの方針づくりや振興に向けた実践・促進等がなされています。さらに長野県においても、観光戦略をはじめとする方向性を踏まえた取組が進んでいます。

本計画においても、こうした経緯、全国や広域的な動向を常に注視しながら、観光振興や関連するまちづくりに取り組んでいくこととなります。

◇観光やまちづくりに関する方針・主な取組等の推移

	安曇野市	長野県／国
平成 から 令和 へ	○安曇野市が発足（豊科町・穂高町・堀金村・三郷村・東筑摩郡明科町の5町村による新設合併／平成 17 年 10 月）	○観光立国推進基本法が成立（平成 18 年 12 月） ○観光庁が発足（平成 20 年 10 月）
	○「観光振興ビジョン」策定（平成 25 年 3 月）	○「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」とりまとめ（観光立国推進閣僚会議／平成 25 年 6 月）
	○新本庁舎が開庁（本庁機能を集約／平成 27 年 5 月）	○「明日の日本を支える観光ビジョン」策定（観光庁・明日の日本を支える観光ビジョン構想会議／平成 28 年 3 月）
	○「第 2 次安曇野市総合計画」策定（平成 30 年 3 月）	○「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略 2018」策定（長野県／平成 30 年 3 月）
	○「第 2 期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定（令和 2 年 3 月）	○「日本版 持続可能な観光ガイドライン」発行（観光庁・UNWTO 駐日事務所／令和 2 年 6 月） ○「観光ビジョン 実現プログラム ―世界が訪れたい日本を目指して―」策定（観光立国推進閣僚会議／令和 2 年 7 月）

◇本計画に関わる各種計画等の概要

＜国関連＞	
<p>「観光立国推進基本計画」 (閣議決定／平成 29 年 3 月) (平成 24 年度からの旧計画を踏まえた変更、新たな計画として決定)</p>	<p>○基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民経済の発展 ・ 国際相互理解の増進 ・ 国民生活の安定向上 ・ 災害、事故等のリスクへの備え <p>○計画期間 4 年間</p> <p>○施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成 ・ 観光産業の国際競争力の強化及び観光の振興に寄与する人材の育成 ・ 国際観光の振興 ・ 観光旅行の促進のための環境の整備
<p>「明日の日本を支える観光ビジョン」(観光庁・明日の日本を支える観光ビジョン構想会議／平成 28 年 3 月)</p>	<p>○視点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に 2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に 3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に <p>○新たな目標への挑戦</p> <p>下記項目について数値目標を設定 (訪日外国人旅行者数 / 訪日外国人旅行消費額 / 地方部での外国人延べ宿泊者数 / 外国人リピーター数 / 日本人国内旅行消費額)</p>
<p>「日本版 持続可能な観光ガイドライン」(観光庁・UNWTO 駐日事務所／令和 2 年 6 月)</p>	<p>○趣旨</p> <p>持続可能な観光指標として作成されたガイドライン。現状把握、モニタリングとそれらに基づく観光政策や計画の策定、それらに基づく持続可能な観光地マネジメントの促進を目的としている。</p> <p>○カテゴリー</p> <ol style="list-style-type: none"> A 持続可能なマネジメント B 社会経済のサステナビリティ C 文化的サステナビリティ D 環境のサステナビリティ
<p>「観光ビジョン 実現プログラム - 世界が訪れたい日本を目指して -」(観光立国推進閣僚会議／令和 2 年 7 月)</p>	<p>○趣旨</p> <p>観光は成長戦略の柱、地方創生への切り札である、という認識のもと、ウィズ・ポストコロナにおける対応を着実に進めつつ、今後の観光のあり方について検討し、政府の今後一年を目標とした行動計画として示すもの。</p> <p>○国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化（に向けて）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光関連産業の雇用の維持と事業の継続 2 反転攻勢に転じるための基盤の整備 3 国内旅行の需要喚起 4 インバウンドの回復
＜長野県関連＞	

<p>「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略 2018」（長 野県／平成 30 年 3 月）</p>	<p>○戦略方針 <目指す姿> 「そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる世界 水準の山岳高原リゾート」</p> <p><県民の皆さんとともに取り組む観光地域づくりの行動指針> 1 地域の価値を来訪者を含む多様な視点から掘り起し、「地域 のストーリー」を見出そう！ 2 地域のストーリーに沿って様々な主体が協力し合い、学び 合い、そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられ る地域づくりを進めよう！ 3 世界標準を常に意識しながら、全世界の人々が訪れやすい 環境づくりを進めよう！</p> <p><地域のストーリーとは> ・地域の風土や人々の営みが造り出してきたその地域のアイデ ンティティ（存在意義）や誇り ・地域外の人々がその地域を訪れたいくなる（=学びたいくなる）必 然性 これが世界に問う信州型の新たなリゾートのかたち 観光地域づくりの経営主体と県全体の観光政策との連動に より地域の持続可能な自立を目指す。地域のストーリーを育 み、訪れる必然性のある観光地域づくりを進めることによ り、人や情報、技術や投資を呼び込み、そこに暮らす人と訪 れる人の「しあわせ」の実現を目指す。</p> <p>○施策の展開方向～しあわせ観光地域づくりを実現する 3 つの戦 略 I 観光の担い手としての経営体づくり II 観光地域としての基盤づくり III 世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略</p>
<p><安曇野市関連></p>	
<p>「観光振興ビジョン」（平成 25 年 3 月）【前計画】</p>	<p>○理念・目標像等 「はじめよう、『安曇野暮らしツーリズム』～豊かな旅・豊かな 生き方～」</p> <p>○5つの基本戦略 1 安曇野暮らしをまもる ～自然との共生～ 2 安曇野暮らしをそだてる ～農のある暮らしの再生と食の 活用～ 3 安曇野暮らしをつたえる ～歴史・文化、芸術の継承・活 用～ 4 安曇野暮らしをつなげる ～コミュニティとの連携～ 5 安曇野暮らしがうるおう ～観光関連産業の強化と観光波 及効果の最大化～ ・観光基盤整備（観光推進体制の構築 / 観光基盤の充実・ 強化）</p> <p>○戦略プロジェクト 安曇野の「水」を活かす 安曇野の「農」を活かす 安曇野の「歴史・文化、芸術」を活かす</p>
<p>「第 2 次安曇野市総合計画」</p>	<p>○将来都市像</p>

<p>策定（平成 30 年 3 月）</p>	<p>「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」</p> <p>○基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 いきいきと健康に暮らせるまち 2 魅力ある産業を維持・創造するまち 3 自然環境を大切にするまち 4 安全・安心で快適なまち 5 学び合い 人と文化を育むまち <p>○観光関連の施策項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「商工観光業を振興するまち」 「ブランドの創出に取り組むまち」 など
<p>「第 2 期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 策定（令和 2 年 3 月）</p>	<p>○趣旨</p> <p>「人口減少を和らげるとともに人口減少に適応したまちをつくる」</p> <p>○観光関連の施策項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな雇用を生み出す ～ 観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出 ・移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ～ 交流活動の推進 など

◆ 観光政策等の背景

1. 国際的な観光政策

国連において2015年に採択された「SDGs」(17のゴールからなる持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals))は、観光分野においても主要な考え方として取り入れられています。

UNWTO (国連世界観光機関)では、持続可能性に配慮した観光が目指され、我が国においても2021年、日本政府観光局(JNTO)が「SDGsへの貢献と持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)の推進に係る取組方針」を策定するなど、新たな時代を見据えた観光振興の基本的な考え方となっています。

◇トピックス～ 観光と「SDGs」の関係性

<p>持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)とは？</p>	<p>「訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」(UNWTOによる定義)</p>
<p>JNTO(日本政府観光局)が考える持続可能な観光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の「環境」を守る・育む・環境資源を最適な形で観光に活用している事例を情報発信 →自然や生物多様性の保全等に貢献 ◆地域の「文化」を守る・育む・地域の有形無形の伝統・文化資産等を魅力ある形で海外に発信 →外国人旅行者による体験等を通じて、伝統・文化の保存・継承に貢献 ◆地域の「経済」を守る・育む ・日本全国各地への外国人旅行者の安定した誘客・滞在の促進 ・地域ならではの体験や特産品等の購入促進 →地域経済の活性化と安定的・長期的な雇用を創出し、住んでよし・訪れてよしの地域づくりに貢献

資料：「SDGsへの貢献と持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)の推進に係る取組方針」(JNTO/2021年6月)



資料：SDGs/17のゴール

◇トピックス～ 「UNWTO（国連世界観光機関）」とは

UNWTO（国連世界観光機関）は、1975年に設立され、2003年に国連の専門機関となりました。観光分野における主要な国際機関であり、経済成長、包括的发展、環境の持続性を達成する推進力として観光を促進し、指導・支援しています。

また、SDGsやサステナブル・ツーリズムのほかにも、観光に関連した普遍的な考え方やトレンドとして、さまざまな方向性が示されています。

◇トピックス～ 観光をめぐる様々なキーワード

ユニバーサル・ツーリズム	人種や国籍、民族や宗教、ジェンダーや年齢、障害の有無等に関係なく、全ての旅行者が、快適で安全・安心な旅行ができるようにするための考え方や取組
責任ある観光 (レスポンシブル・ツーリズム)	「旅先に住む人々に敬意を払い、私たちの共有遺産を大切にしよう」「私たちの地球を守ろう」「地域経済をサポートしよう」「安全に旅をしよう」「旅先の情報に通じた旅人になろう」「デジタル・プラットフォームを賢く使おう」といった、旅行者に推奨される具体的な行動（UNWTOによる定義）
エコ・ツーリズム	自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた（環境省WEBサイトより）
グリーン・ツーリズム	農山漁村に滞在し農漁業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図る余暇活動のこと。長期バカンスを楽しむことの多いヨーロッパ諸国で普及した。
アドベンチャー・ツーリズム (AT)	「アクティビティ」「自然」「文化体験」の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行のこと（ATTA（Adventure Travel Trade Association、1990年設立の国際アドベンチャーツーリズム組織）による定義）。 旅行者が地域独自の自然や地域のありのまま文化を、地域の方々とともに体験し、旅行者自身の自己変革・成長の実現を目的とする旅行形態。“アドベンチャー”という言葉から、強度の高いアクティビティを連想しがちだが、アクティビティは地域をより良く知り、地域の方々との深く接する手段の一つであり、近年はハードなものより、むしろ散策や文化体験等のソフトで簡易なものが主流となってきている。（(一社)日本アドベンチャーツーリズム協会WEBサイトより）

資料：「SDGsへの貢献と持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の推進に係る取組方針」（JNTO／2021年6月）ほか

2. 日本の観光政策

「明日の日本を支える観光ビジョン（平成28（2016）年3月、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議策定）」では、国内観光における課題を提起し、観光先進国への3つの視点、及び観光立国に向けた目標値が示されています。

<我が国の観光における課題認識>

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。
- 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。
- C I Q※や宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
- 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

※CIQ：人や荷物の移動において必須とされる3つの出国手続き（税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫所Quarantine）の略称

<「観光先進国」への「3つの視点」>

- 視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に
- 視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- 視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

<目標値>

項目	目標	
	令和2（2020）年	令和12（2030）年
訪日外国人旅行者数	4,000万人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円
地方部での外国人延べ宿泊者数	7,000万人泊	1億3,000万人泊
外国人リピーター数	2,400万人	3,600万人
日本人国内旅行消費額	21兆円	22兆円

資料：明日の日本を支える観光ビジョン

また、「明日の日本を支える観光ビジョン」の実現に向けた取組みが進むなかで、2019年末から世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、観光需要は大幅に減少しました。そのため新たに、観光立国推進閣僚会議において「観光ビジョン実現プログラム2020（令

和2(2020)年7月)」が決定され、行動計画として推進されています。

同プログラムでは、観光関連産業への支援策や、インバウンドの再開に備えた受入環境整備、新規コンテンツづくり等、引き続き戦略的に取り組む施策が示されています。

◇「観光ビジョン実現プログラム2020」の概要

<p>I. 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。 ・このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。 ・その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。 	
<p>1. 雇用の維持と事業の継続に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続化給付金や家賃支援給付金の給付 ・実質無利子・無担保融資の制度拡充 ・雇用調整助成金の制度拡充 ・公租公課やNHK受信料等の猶予・減免 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>3. 国内旅行の需要喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Go To トラベル事業」の実施による <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊・日帰り旅行商品の割引 ・地場の土産物店、飲食店、観光施設、交通機関等で幅広く使用できる地域共通クーポンの発行 ・新たな生活様式に沿った「新しい旅行スタイル」の普及 ・休暇取得の分散化、滞在型旅行の促進 ・国立公園等におけるワーケーションの推進 <p style="text-align: right;">等</p>
<p>2. 反転攻勢に転じるための基盤の整備</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宿泊施設の高付加価値化 ・生産性向上等</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>誘客多角化のための 魅力的な滞在コンテンツ造成</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に旅行できるよう、観光関連事業者自ら作成した感染拡大予防ガイドラインの実施徹底を促す <p style="text-align: right;">等</p>	<p>4. インバウンドの回復</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>台北/高雄-日本全航線 TWD 1,299 起 発着日数 2019/12/17 - 2020/04/23/24 旅行日数 2019/12/17-2019/12/30</p> <p>日本政府観光局における 航空会社等との共同広告</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海外プロモーションの推進</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">等</p>
<p>II. インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。 	
<p style="text-align: center;">外国人が楽しめる当たり前の受入環境整備</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>英語・中国語を含む多言語解説の整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>無料Wi-Fiの環境整備</p> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">地域の自然、気候、文化の魅力を生かした体験型アクティビティの充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外国人のニーズに合った 商品の開発・販路拡大</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アドベンチャーツーリズムの推進</p> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">宿舎施設等の再生・活性化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>政府系機関の投融資等による 宿舎施設の再生・活性化</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>国際競争力の高い スノーリゾートの形成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日本政府観光局の発信力強化</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>富裕層が満足できるコンテンツづくり</p> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">日本政府観光局の発信力強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>国立公園の大規模キャンペーン等</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域の伝統文化の体験等</p> </div> </div>	

資料：観光ビジョン実現プログラム2020（令和2(2020)年7月)

3. 長野県の観光政策

長野県では、平成 28 年度から知事を本部長とする「長野県観光戦略推進本部」において、ハード・ソフト両面からの本格的な観光地域づくりに関する議論を行ってきました。

同本部での議論を踏まえ、県としての「稼ぐ」観光地域づくりに向けた県全体の取組みの方向性を明確にするとともに、県民、市町村、DMO、観光関連事業者等と互いに協働して取り組むための指針として、「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略 2018（平成 30 年 3 月）」を策定しています。

◇「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略 2018」の概要

○期 間 : 2018年度（平成30年度）～ 2022年度までの5力年間。

○戦略方針 : ～世界を魅了するしあわせ観光地域づくり～

<目指す姿>

そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる世界水準の山岳高原リゾート

- ・ そこに暮らす人がその地域に暮らす「しあわせ」を語れます。日々の暮らしを楽しんでいます。
- ・ 地域外の人々を受け入れ、交流することが地域の活性化につながることを認識しています。
- ・ そこを訪れる人々が自分の暮らしや人生を豊かにするヒントや機会が得られます。
- ・ 私たちは信州の山里に生まれた健康でしあわせなライフスタイルや未来への知恵を、世界の人々とともに享受することのできる新たなリゾートの形を験します。
- ・ 私たちは、ここ信州に集う全ての人々とともに、持続可能な地域づくりと先進的な自治のあり方を学び 合い、「しあわせ」な観光地域づくりと地域文化の形成を推進します。

<県民の皆さんとともに取り組む観光地域づくりの行動指針>

- 1 地域の価値を来訪者を含む多様な視点から掘り起し、「地域のストーリー」を見出そう！
- 2 地域のストーリーに沿って様々な主体が協力し合い、学び合い、そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる地域づくりを進めよう！
- 3 世界標準を常に意識しながら、全世界の人々が訪れやすい環境づくりを進めよう！

<地域のストーリーとは>

- ・ 地域の風土や人々の営みが造り出してきたその地域のアイデンティティ（存在意義）や誇り
- ・ 地域外の人々がその地域を訪れたい（=学びたい）必然性
これが世界に問う信州型の新たなリゾートのかたち

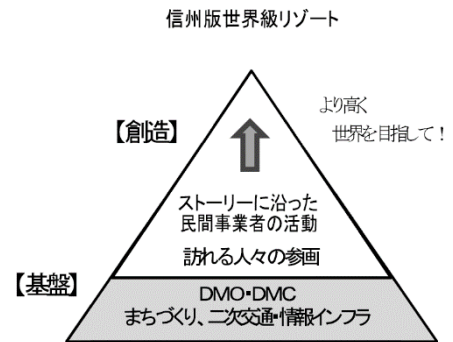
観光地域づくりの経営主体と県全体の観光政策との連動により地域の持続可能な自立を目指します。地域のストーリーを育み、訪れる必然性のある観光地域づくりを進めることにより、人や情報、技術や投資を呼び込み、そこに暮らす人と訪れる人の「しあわせ」の実現を目指します。

○施策の展開方向 ～しあわせ観光地域づくりを実現する3つの戦略～

<第Ⅰ章 観光の担い手としての経営体づくり>

戦略推進本部と県観光機構は連携して広域型DMO・DMCの形成と将来を担う人材の育成を行うとともに、県観光機構は組織体制を充実強化します。

- ・ 「広域型DMO・DMC」の形成・確立
- ・ 県観光機構が広域型DMO・DMCの形成や観光地域づくりの課題・将来像に積極的にコミットできるよう組織体制を充実強化
- ・ 観光地域づくりの視点からの「まちづくり」の推進と支援体制の構築
- ・ 暮らす人も訪れる人も参画する「学び」を重視した観光地域づくりの推進
- ・ 総合産業としての観光を担う人材の育成・確保
- ・ 県観光部の役割の明確化



<第Ⅱ章 観光地域としての基盤づくり>

地域の多様な主体が参画して地域のストーリーに従い、「稼ぐ」基盤となるまちづくりや二次交通・情報インフラの充実、観光ブランドの形成に取り組みます。

- ・ 地域の持続可能な自立を目指す「稼ぐ」整づくり
- ・ 世界からのアクセスを円滑にする交通インフラの整備と二次交通の充実
- ・ 最先端の技術を活かした世界水準の情報インフラづくり
- ・ 信州の強みを最大限発揮する観光ブランドの形成・確立
- ・ 本県観光の新たな付加価値を生み出す「学びツーリズム」の確立
- ・ 地勢や環境を活かした大規模イベントの開催やフィルムコミッション・スポーツコミッションの推進
- ・ 安全・安心で楽しい登山環境の確立

<第Ⅲ章 世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略>

本格的なインバウンド先進県となるべく、ハード・ソフト両面からインバウンド受入体制を強化します。

- ・ インバウンド誘客の推進・受入環境の整備
(信州のポテンシャルを活かした海外からの誘客ルートの確立 / 海外から選ばれる体験型観光の発掘・磨き上げ / 官民挙げての受入環境の整備)
- ・ 国別戦略による効果的なプロモーション
(重点地域と個別戦略 / オリンピックレガシーの活用 / 二国間協定の活用)

※観光戦略を具体化する取組は、「戦略を推進するための施策一覧」として別途記載、上記に加え、継続的検討課題として、「観光振興のための財源の検討」、「本格的な物販・流通支援体制の検討」について記載

※DMO・DMC : DMOは、「Destination Management Organization」の略。観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。DMCは、「Destination Management Company」の略。企業や会社形態のマネジメント組織のこと。

<主要指標>

指標名	現状	目標	備考
延宿泊者数 〔宿泊旅行統計調査(観光庁)〕	1,780 万人 (2016 年)	2,175 万人	県内の旅館やホテル等に宿泊した者の延べ人数
外国人延宿泊者数 〔宿泊旅行統計調査(観光庁)〕	113.5 万人 (2016 年)	300 万人	県内の旅館やホテル等に宿泊した外国人の延べ人数
観光消費額 〔観光入込客統計(共通基準)(長野県)〕	7,320 億円 (2016 年)	8,100 億円	県内で旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計
重点支援広域型 DMO・DMC指定数	0	10	
来訪者満足度(国内) 〔来訪者満足度調査(県観光機構)〕	18.6% (2016 年)	25.0%	来訪エリアの総合満足度(7段階評価)「大変満足」の割合
来訪者満足度(海外) 〔来訪者満足度調査(県観光機構)〕	43.2% (2016 年)	50.0%	同上
山岳遭難死傷者数 〔長野県警察本部調〕	211 人 (2017 年)	180 人以下	山の遭難による死傷者数

また、長野県観光部では、コロナ禍を踏まえ、その後の観光振興に向けた方向性として、令和2(2020)年9月、「After コロナ時代を見据えた観光振興方針」を公表しています。

◇「Afterコロナ時代を見据えた観光振興方針」の概要

○4つのポイント

- ① コロナの影響で生じた社会変革を捉え、
→新型コロナの影響による喫緊の課題に危機感を持って対応
- ② 「あれも」「これも」ではなく、
→3つの柱に的を絞って集中的に取り組
- ③ 責任所在を明確にするため、
→部局横断のプロジェクト体制をつくり、課題に対して確実にコミットできる仕組みを構築
- ④ 県内地域が「一律型の金太郎あめ」とならないよう、
→観光地が戦略的に独自の観光地経営を追求する体制を整備

○現状認識

- ・コロナで観光産業は未曾有の大打撃
- ・海外・国内の観光客動向に変化
- ・コロナの影響を受け、人々の行動や価値観が変化し働き方や生活様式等の変革が起きている
(観光地選択にあたっては「安全・安心」を重視 /人混みを避け地方でゆっくり過ごすニーズの高まり /社会の生活様式にデジタル技術活用(DX(※デジタルトランスフォーメーション〜デジタルを活用した社会の変革))が浸透)

○方針骨子 - 3本柱 -

- 1 安全・安心な観光地域づくり
喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策を観光地全体で対応する体制を整備
<安全・安心の見える化> Clean&Safe NAGANO プロジェクト
- 2 長期滞在型観光の推進
地方の開放的な環境でゆったりと寛ぐ時間を提供し新たな気付きで人生を豊かにする長期滞在型観光を展開
<ライフスタイルと観光の融合> 寛ぎと発見の長期滞在プロジェクト
- 3 信州リピーターの獲得
旅マエの魅力デジタル発信から旅アトのマーケティング戦略まで観光分野のDX推進によりコアな信州ファン獲得へ
<デジタル×観光=信州ファン増> 信州リピーター獲得プロジェクト

○3本柱による観光地域づくりを支援 - 推進の仕組み -

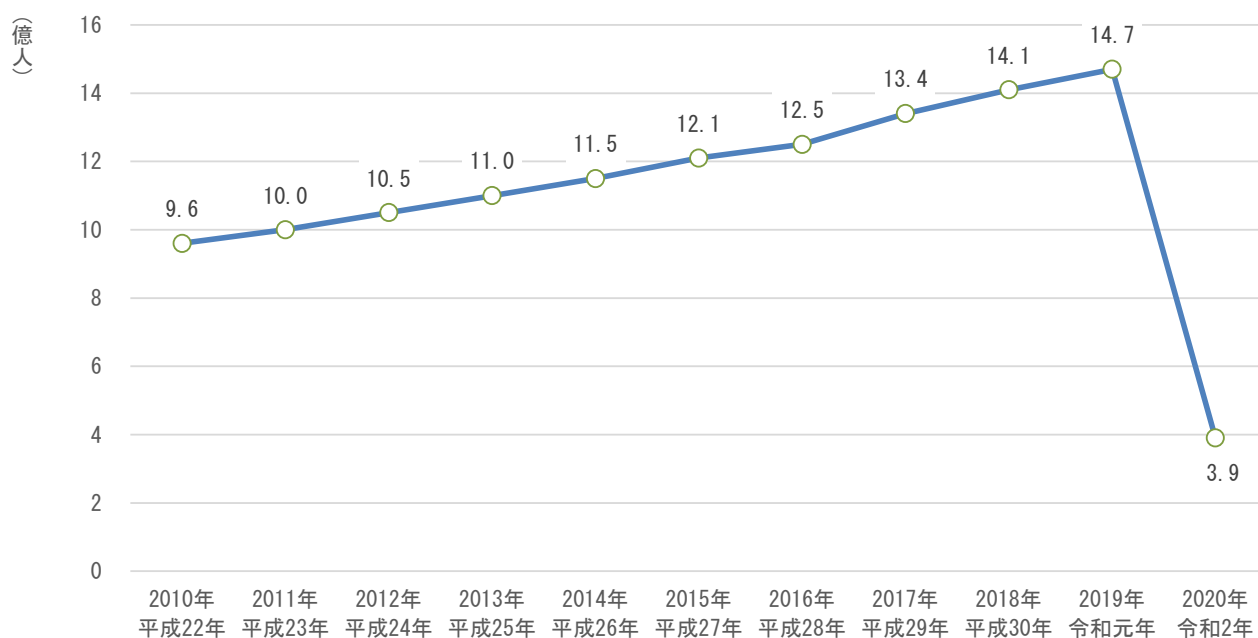
- 推進主体は個性ある“地域” 本方針に沿った戦略的な観光地域づくりを支援
→観光地経営の視点を持った観光地域への転換を推進
- ・県：方針3本柱を提示、地域の取組をバックアップ
 - ・地域：地域一体で取り組む経営戦略と事業方策を策定・実践
 - ・機構：地域の取組に助言、民間とのコーディネート役これまでの取組を活かしてプロジェクト実現へ
- 【狙い】喫緊の課題に着手 → 観光振興方針の実践 → 観光戦略の加速
インセンティブの付与とノウハウ支援により地域独自の「稼ぐ」観光地域づくりへ

◆ 観光を取り巻く現状と課題

1. 国際的な動向

UNWTO（国連世界観光機関）の2021年（令和3年）3月の発表によると、2020年（令和2年）の世界全体の国際観光客数は、前年より約10億7,200万人減（前年比73.1%減）の3億9,400万人となっています。増加基調で推移していた国際観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための渡航制限等により、大きく減少しました。

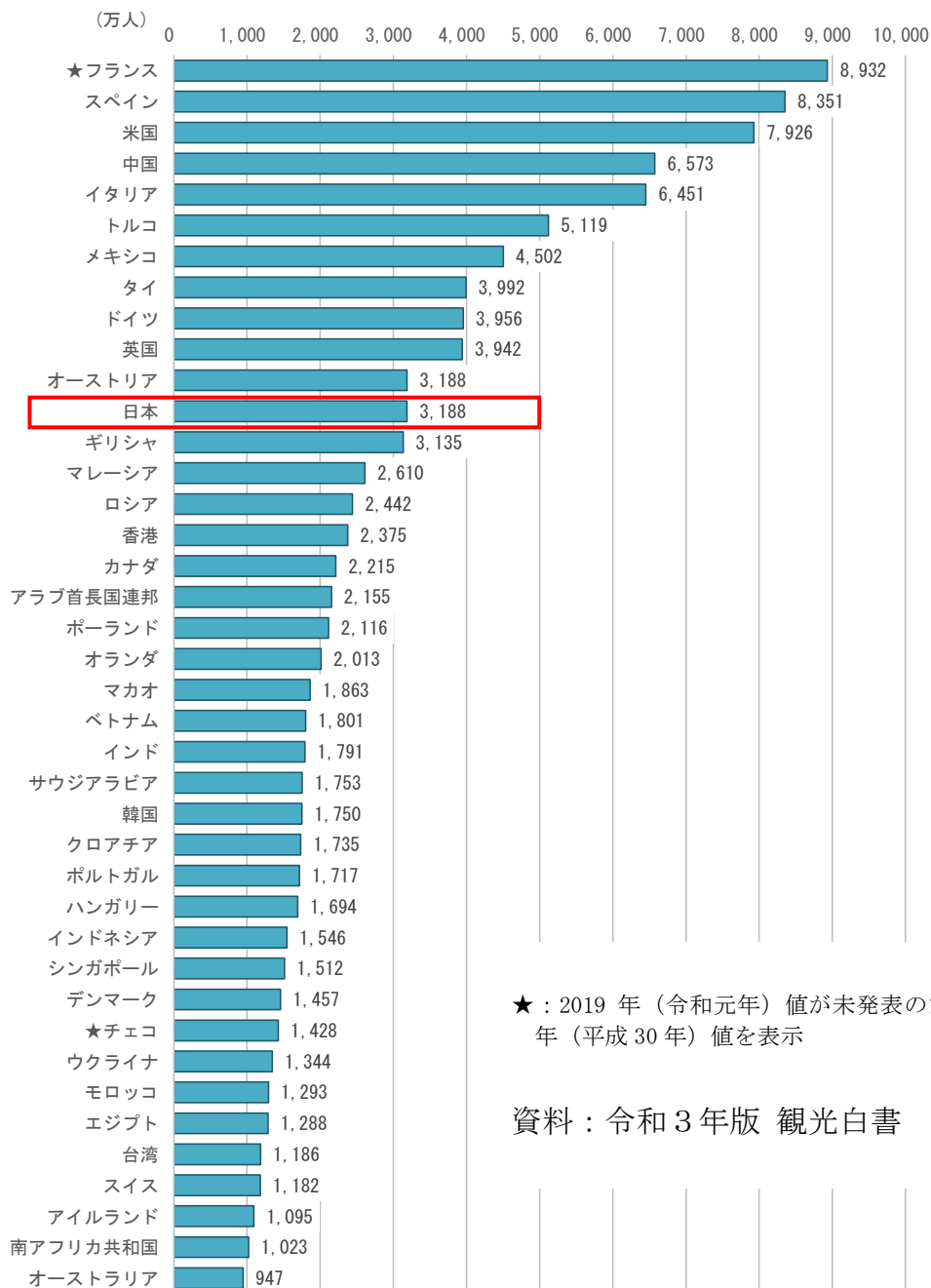
◇国際観光客数の推移（2020年（令和2年））



資料：令和3年版 観光白書

新型コロナウイルス感染症拡大前の 2019 年（令和元年）の外国人旅行者受入数は、日本は 3,188 万人で 12 位（アジアでは中国、タイに次ぐ 3 位）となっています。

◇外国人旅行者受入数ランキング（2019 年（令和元年））



★：2019 年（令和元年）値が未発表のため、2018 年（平成 30 年）値を表示

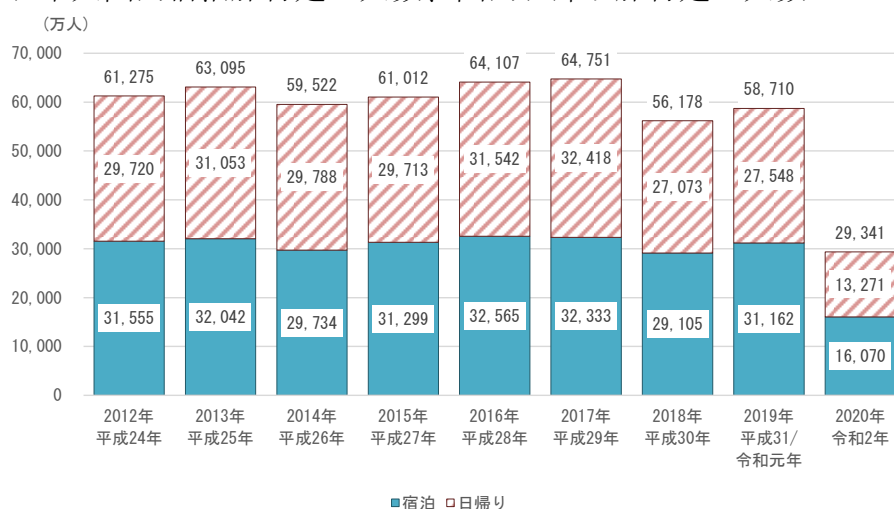
資料：令和 3 年版 観光白書

2. 全国的な動向

日本人の国内宿泊および日帰り旅行の延べ人数は、ここ数年 6,000 万人前後で推移していましたが、令和 2（2020）年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動制限等により、国内旅行者数は 3,000 万人を下回るまでに半減しました。

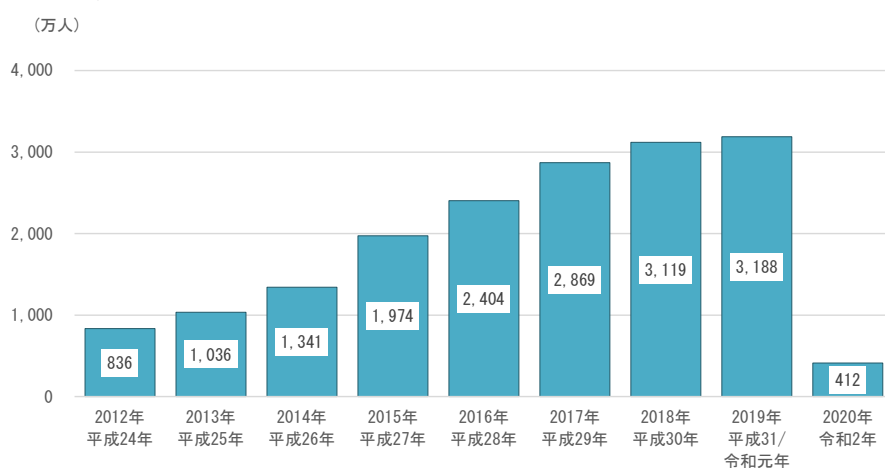
また、訪日外国人旅行者数は、令和元（2019）年に約 3,000 万人を超えるなど年々増加傾向で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による入国規制により、令和 2（2020）年には 400 万人台と、前年に比べ 8 分の 1 程度にまで減少しています。

◇日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数



資料：観光庁 「旅行・観光消費動向調査」（令和 3（2021）年版）

◇訪日外国人旅行者数



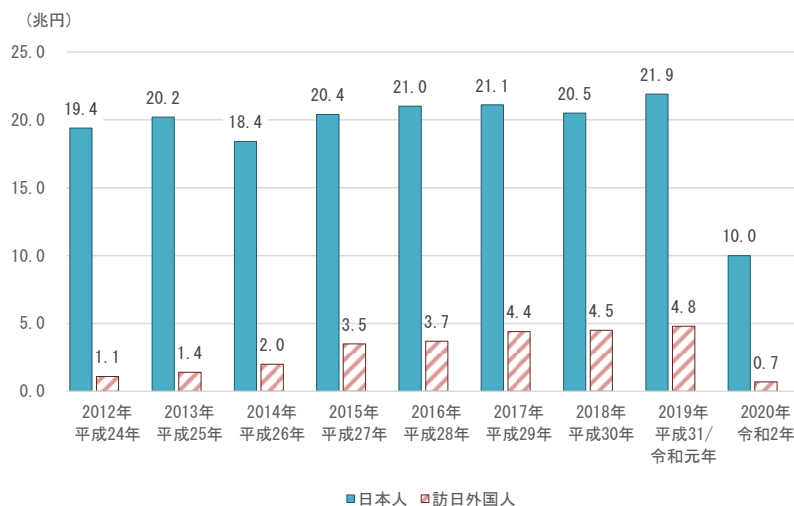
資料：日本政府観光局（JNTO）（令和 3（2021）年版）

旅行消費額についても、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に表れています。

日本人の国内旅行消費額は20兆円で推移していたものの、令和2（2020）年は約10兆円にまで半減しました。

一方、訪日外国人の旅行消費額は増加傾向にありましたが、令和2（2020）年は訪日外国人の大幅な減少により、前年の7分の1程度にまで落ち込んでいます。

◇日本人国内旅行消費額と訪日外国人旅行者による旅行消費額

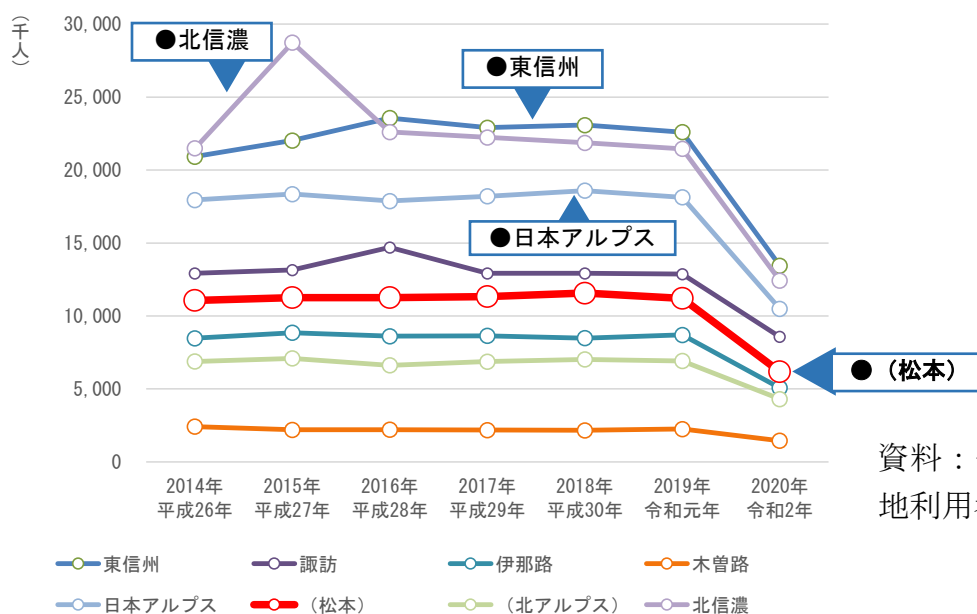


資料：観光庁「観光白書」（令和3（2021）年版）

3. 県や広域的な動向

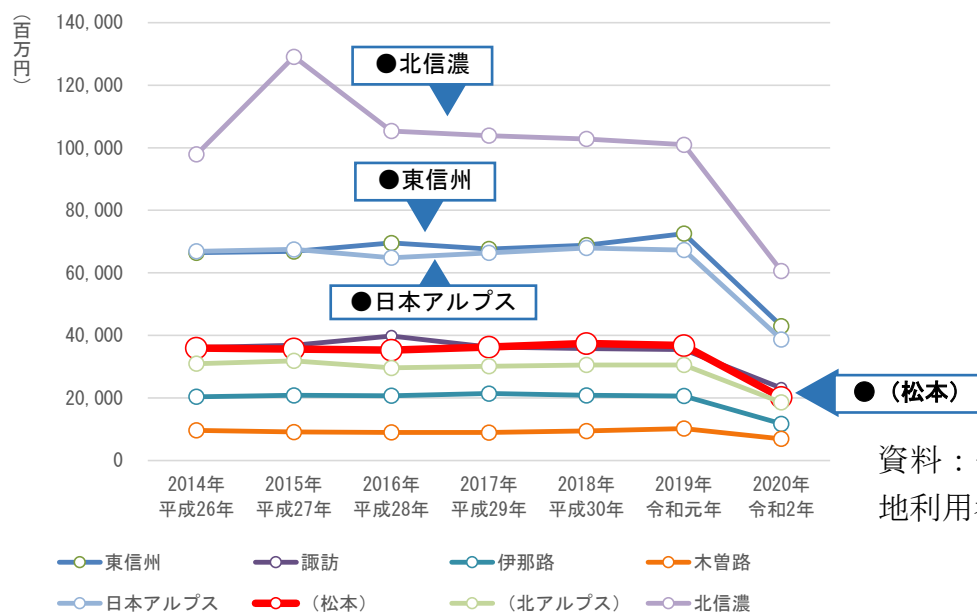
県内主要観光エリア区分ごとの観光動向（延利用者数及び観光消費額）を見ると、当市を含む「松本エリア（当市・松本・塩尻）」は、コロナ禍の影響を受けた令和2年を除き、大きな増減傾向は見られず推移しています。また、松本エリアと北アルプスエリアを合わせた「日本アルプス」エリアについても同様の傾向となっています。なお、北信濃エリアでは、平成27年に北陸新幹線の長野ー金沢間が開業しています。

◇県内主要観光エリアの延利用者数推移



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇県内主要観光エリアの観光消費額推移



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇県内主要観光エリアの延利用者数推移

(単位：千人)

	東信州	諏訪	伊那路	木曽路	日本 アルプス	(松本)	(北アル プス)	北信濃	合計
2014年 平成26年	20,920	12,926	8,472	2,418	17,953	11,069	6,884	21,495	84,183
2015年 平成27年	22,028	13,149	8,856	2,197	18,349	11,257	7,092	28,736	93,314
2016年 平成28年	23,567	14,695	8,613	2,212	17,880	11,258	6,621	22,610	89,576
2017年 平成29年	22,905	12,923	8,643	2,180	18,206	11,333	6,874	22,239	87,096
2018年 平成30年	23,080	12,918	8,484	2,164	18,591	11,568	7,023	21,865	87,102
2019年 令和元年	22,598	12,867	8,701	2,255	18,137	11,212	6,924	21,454	86,011
2020年 令和2年	13,452	8,573	5,076	1,455	10,493	6,181	4,311	12,429	51,476

資料：長野県観光地利用者統計調査

◇県内主要観光エリアの観光消費額推移

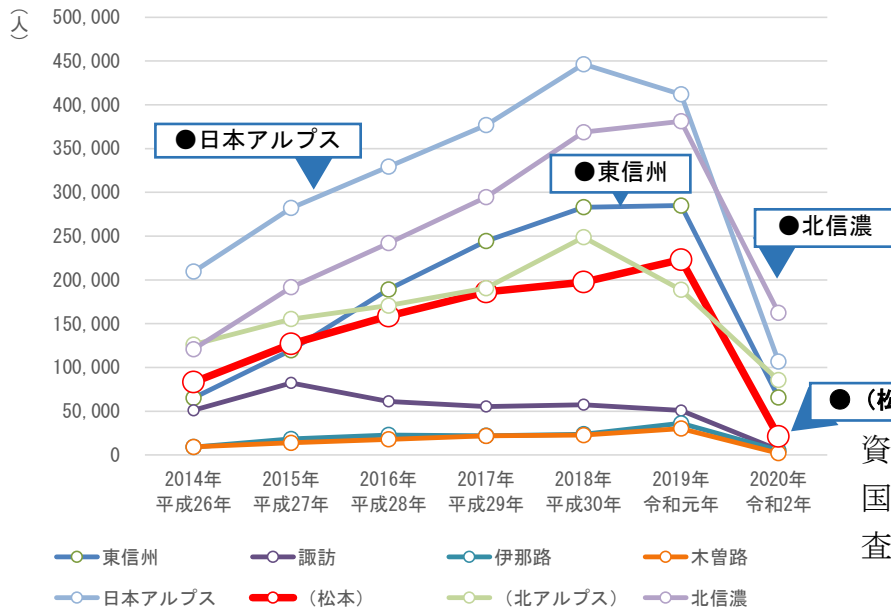
(単位：百万円)

	東信州	諏訪	伊那路	木曽路	日本 アルプス	(松本)	(北アル プス)	北信濃	合計
2014年 平成26年	66,443	36,152	20,390	9,629	66,877	35,924	30,953	97,896	297,388
2015年 平成27年	66,856	36,818	20,815	9,090	67,500	35,628	31,873	129,106	330,184
2016年 平成28年	69,554	39,844	20,694	8,971	64,853	35,258	29,595	105,364	309,279
2017年 平成29年	67,634	36,290	21,419	8,940	66,413	36,252	30,161	103,877	304,574
2018年 平成30年	68,872	35,783	20,855	9,437	67,970	37,418	30,552	102,834	305,752
2019年 令和元年	72,554	35,417	20,612	10,226	67,298	36,744	30,554	100,975	307,081
2020年 令和2年	42,991	23,158	11,725	6,941	38,720	20,148	18,573	60,605	184,140

資料：長野県観光地利用者統計調査

外国人の延宿泊者数については、コロナ禍前の令和元年まで、県内各エリアにおいて大きく増加傾向にありました。松本エリアと北アルプスエリアを合わせた「日本アルプス」エリアにおいてもその傾向が顕著であり、県内有数の外国人訪問・宿泊エリアとなっています。

◇県内主要観光エリアの外国人延宿泊者数推移



資料：長野県 外国人延宿泊者数調査結果

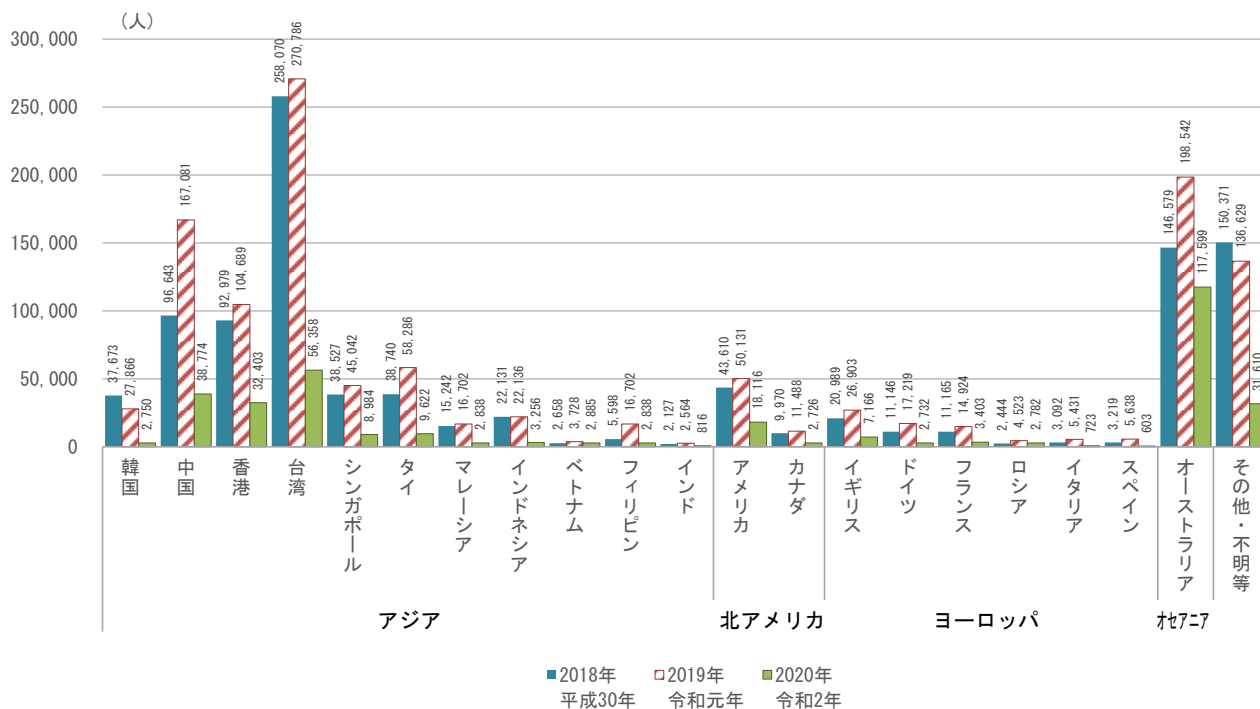
◇県内主要観光エリアの延利用者数推移

(単位：千人)

年	東信州	諏訪	伊那路	木曽路	日本アルプス	(松本)	(北アルプス)	北信濃	合計
2015年 平成27年	119,728	82,386	18,428	13,910	282,122	126,871	155,251	191,708	708,282
2016年 平成28年	189,140	61,292	22,926	17,973	329,361	158,706	170,655	241,988	862,680
2017年 平成29年	244,428	55,376	22,068	21,907	376,733	186,167	190,566	294,461	1,012,973
2018年 平成30年	283,063	57,479	23,737	22,700	446,348	197,567	248,781	368,674	1,202,001
2019年 令和元年	284,980	50,931	36,298	30,186	411,930	223,152	188,778	381,135	1,195,460
2020年 令和2年	65,600	5,788	5,158	2,052	106,829	21,181	85,648	162,445	347,872

資料：長野県観光地利用者統計調査

◇県内 国別の延べ宿泊者数（外国人）の推移



	アジア										
	韓国	中国	香港	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム	フィリピン	インド
2018年 平成30年	37,673	96,643	92,979	258,070	38,527	38,740	15,242	22,131	2,658	5,598	2,127
2019年 令和元年	27,866	167,081	104,689	270,786	45,042	58,286	16,702	22,136	3,728	16,702	2,564
2020年 令和2年	2,750	38,774	32,403	56,358	8,984	9,622	2,838	3,256	2,885	2,838	816

	北アメリカ		ヨーロッパ						オセアニア	その他・不明等	合計
	アメリカ	カナダ	イギリス	ドイツ	フランス	ロシア	イタリア	スペイン	オーストラリア		
2018年 平成30年	43,610	9,970	20,989	11,146	11,165	2,444	3,092	3,219	146,579	150,371	1,012,973
2019年 令和元年	50,131	11,488	26,903	17,219	14,924	4,523	5,431	5,638	198,542	136,629	1,207,010
2020年 令和2年	18,116	2,726	7,166	2,732	3,403	2,782	723	603	117,599	31,610	348,984

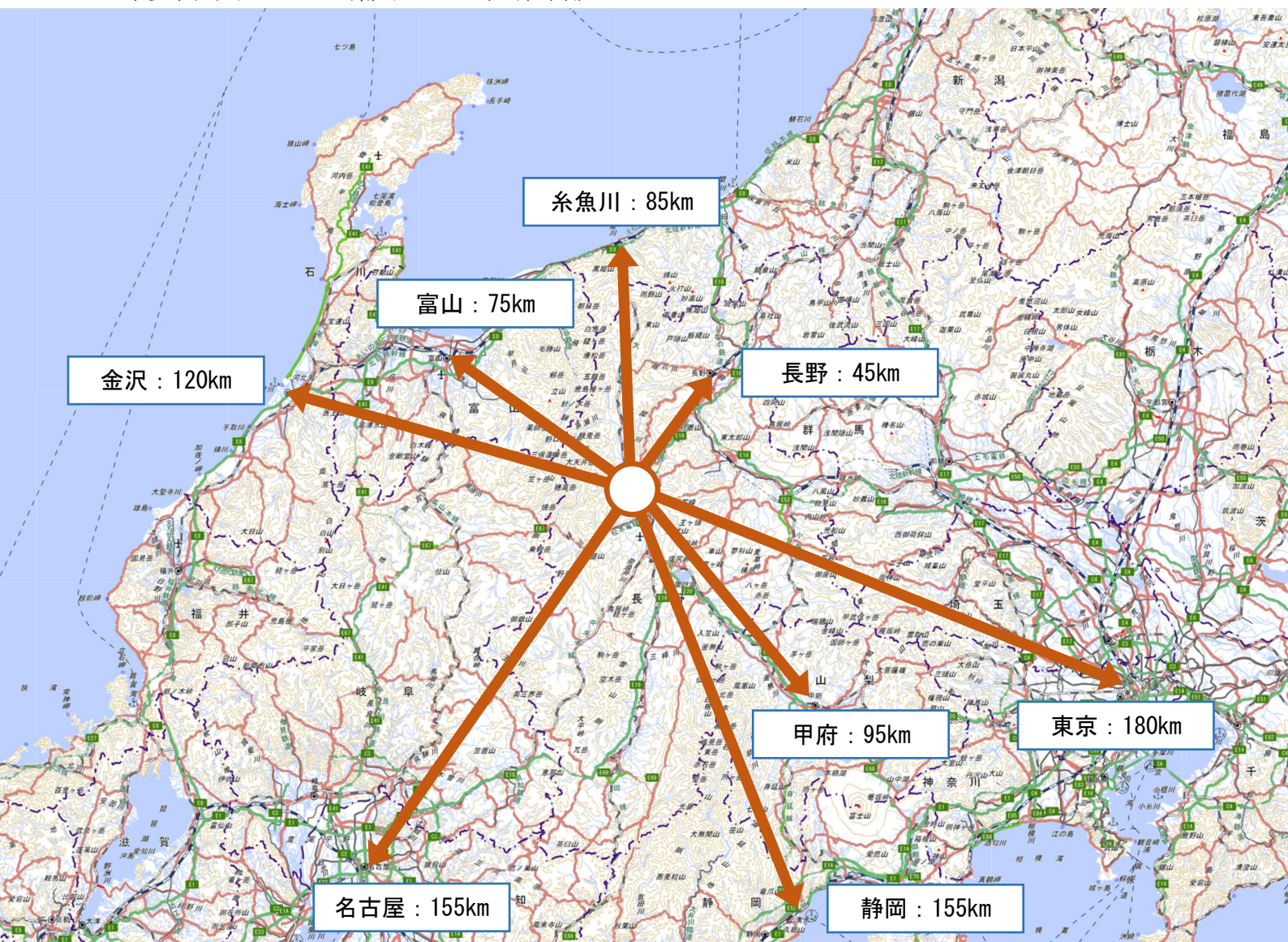
資料：長野県 外国人延宿泊者数調査

4. 市の観光資源等状況

当市は、長野県中西部に位置し、東京等の太平洋側主要都市へは150～200km、日本海側の主要都市へは100km前後の距離となっています。また、県都長野市へは45kmとなっており、隣接・近接する松本市や大町市、白馬・諏訪方面などとともに、県中北部の一大観光エリアを構成しています。(キロ数はいずれも直線距離)

また、交通アクセスについては、長野自動車道（安曇野 I C・梓川スマート I C）や国道などの道路ネットワーク、J R篠ノ井線・大糸線による鉄道ネットワークなどを通じ比較的良好な条件を有しています。

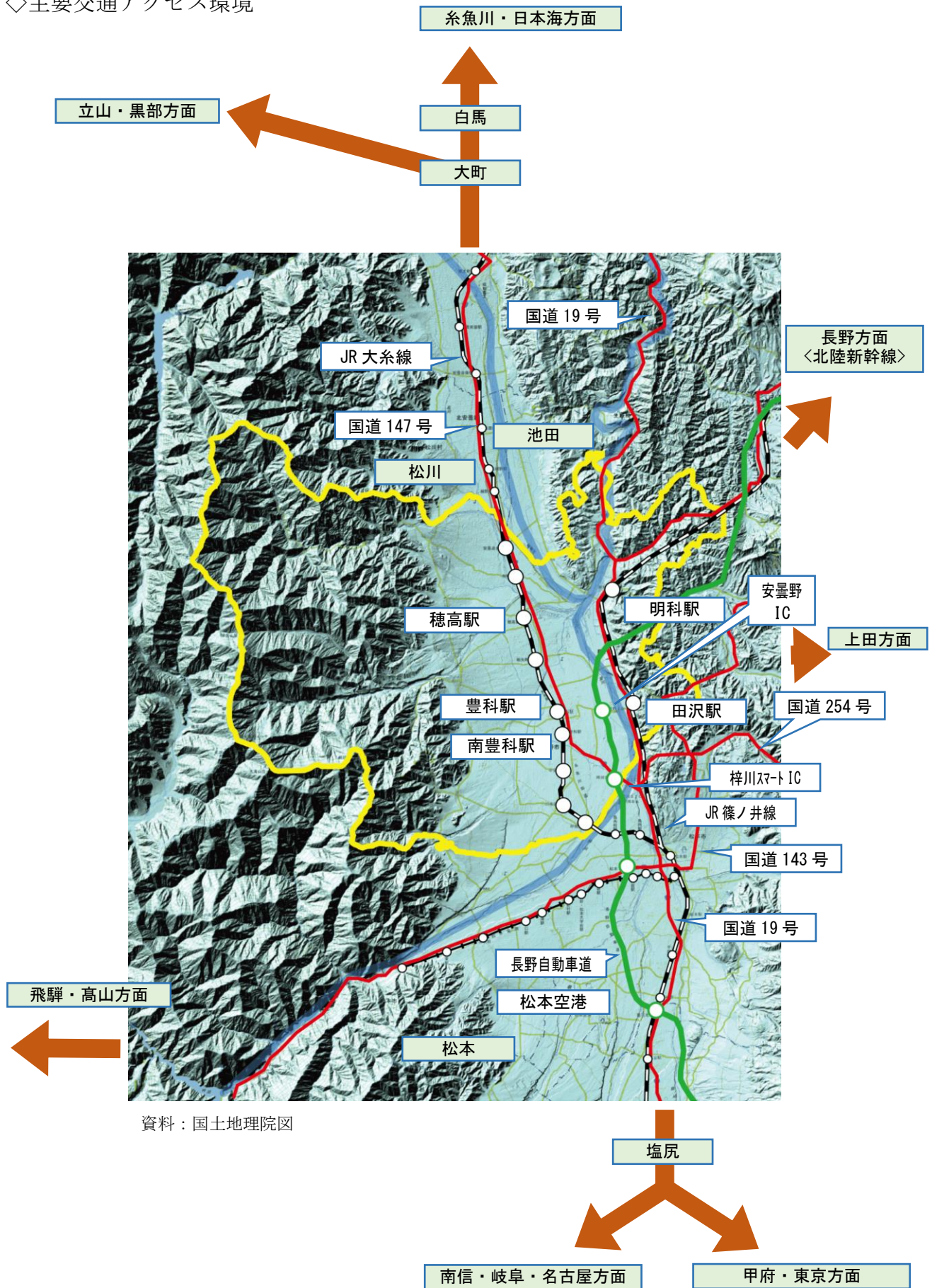
◇安曇野市から主要都市までの直線距離



※方向と直線距離の概数を表示したものであり、道路や鉄道による実際の移動距離とは異なります

資料：国土地理院図

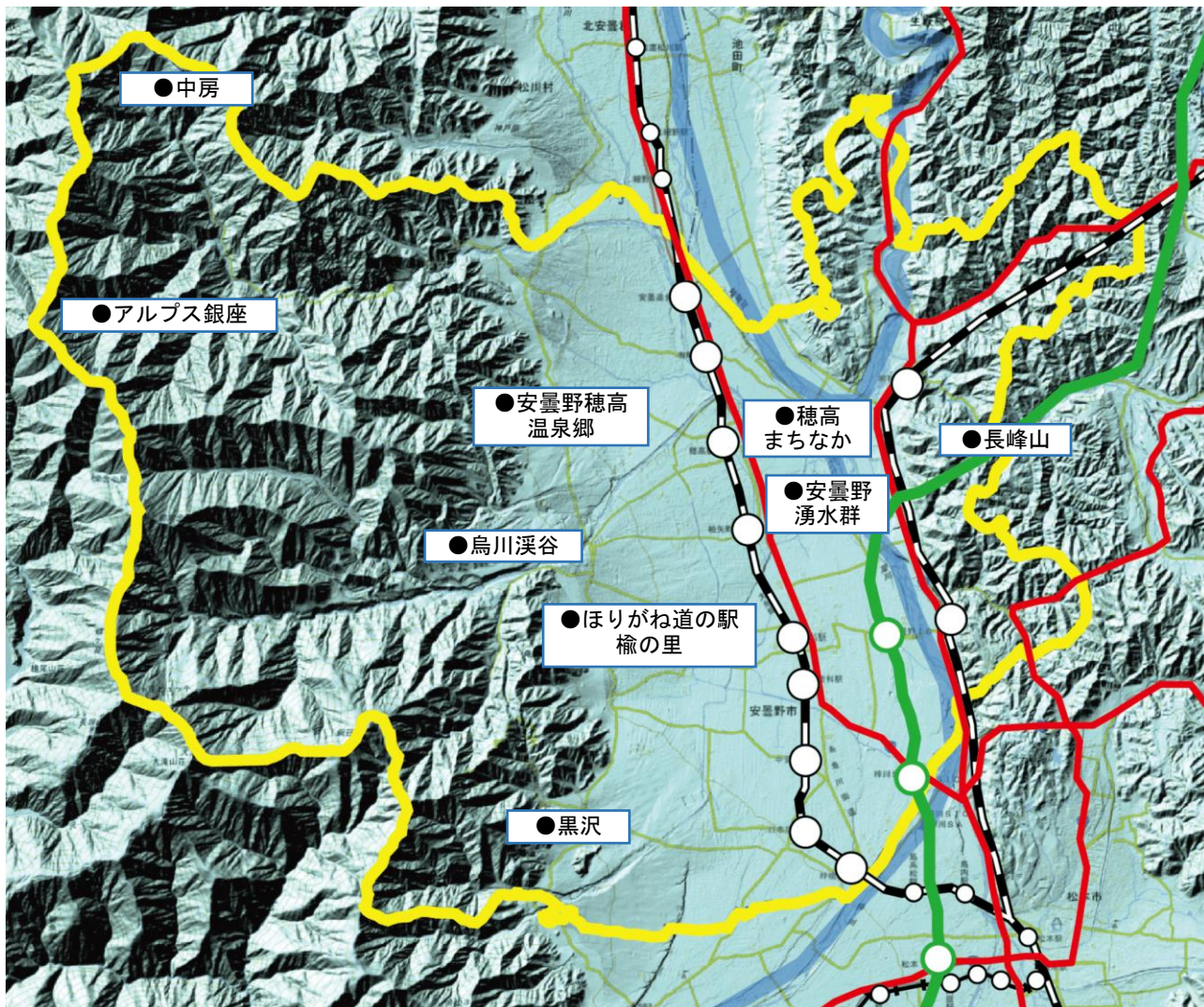
◇主要交通アクセス環境



資料：国土地理院図

市内の主要観光資源については、長野県観光地利用者統計調査における区分として、温泉、山岳・湧水地、市街地、名所旧跡などの多様なエリアが各所に位置しているほか、これらと連携して宿泊、飲食、物販、文化芸術など様々な観光スポットが見られます。

◇主要観光資源の位置



※「長野県観光地利用者統計」に記載されている観光資源区分を表示したもの 資料：国土地理院図

◇主要観光資源の概要

名称	中房	アルプス銀座	ほりがね道の駅 楡の里	穂高まちなか	安曇野湧水群	安曇野穂高温泉郷	烏川溪谷	黒沢	長峰山
観光地類型	温泉	山岳	名所・旧跡	名所・旧跡	名所・旧跡	温泉	高原・湖沼	名所・旧跡	高原・湖沼
概要	中房温泉エリア	山岳・眺望	道の駅周辺	穂高市街地	公園・わさび田等	温泉郷エリア	国営アルプスあづみの公園等	温泉・公園等	森林・展望・眺望

資料：長野県観光地利用者統計調査

文化財や天然記念物についても、観光振興に向けた位置づけ・活用が見込まれる資源が市内各所に見られます。

寺社、自然環境、建築物など、国指定・登録文化財をはじめとして、県・市指定のものなど、地域の歴史や風土を継承する多様かつ固有の文化資源が広がっています。

◇安曇野市における国の文化財

	地域	種別	文化財名称	指定年月日	員数	単位
国指定文化財	穂高	重要文化財	松尾寺本堂	昭和34年6月27日	1	棟
	穂高	重要文化財	北條虎吉像	昭和43年4月25日	1	点
	穂高	重要文化財	曾根原家住宅	昭和48年6月2日	1	棟
	穂高	天然記念物	中房温泉の膠状珪酸および珪華	昭和3年10月4日	2	区画
	地域定めず	特別天然記念物	ライチョウ	昭和30年2月15日		
	地域定めず	特別天然記念物	カモシカ	昭和30年2月15日		
	地域定めず	天然記念物	ヤマネ	昭和50年6月26日		
国登録文化財	豊科	登録有形文化財	信濃教育会生涯学習センター	平成12年3月2日	1	棟
	豊科	登録有形文化財	法蔵寺鐘樓門ほか (建造物5棟)	平成17年12月26日	5	棟
	豊科	登録有形文化財	飯田家住宅主屋ほか (建造物13棟)	平成17年12月26日	13	棟
	穂高	登録有形文化財	旧高橋家住宅主屋ほか (建造物4棟)	平成15年7月17日	4	棟
	穂高	登録有形文化財	礫山美術館礫山館	平成22年2月3日	1	棟
	穂高	登録有形文化財	中房温泉本館菊ほか (建造物7棟)	平成23年7月25日	7	棟
	穂高	登録有形文化財	新屋公民館	平成24年8月13日	1	棟
	三郷	登録有形文化財	宮澤家住宅主屋ほか (建造物8棟)	平成10年9月25日	8	棟
	三郷	登録有形文化財	中村家住宅主屋ほか (建造物5棟)	平成18年4月12日	5	棟
	堀金	登録有形文化財	長野県南安曇農業高等学校 第二農場日輪舎	平成21年4月28日	1	棟

資料：市ホームページ

市や観光関連団体等では、観光振興に向けたさまざまな取組を行っています。近年においても、自然、歴史風土、文化、メディア活用など、さまざまな分野や観点から進めています。

◇トピックス ～ 近年の特徴的な取組（順不同）

名称	概要	備考
○機織りワークショップ	「高機（たかはた）を使って天蚕糸入りのショールを織ってみませんか？ 2種類の天蚕糸を織り入れながら120cmのショールを製作します。」 日時： 令和4年5月28日 / 6月25日 / 7月23日 (9時から17時) 場所：安曇野市天産センター（穂高有明）	対象：高校生以上 定員：各日4名（要予約） 費用：10,000円（税込） 持ち物：昼食、糸切はさみ、定規（30cm）、メジャー 問い合わせ：安曇野市天蚕振興会
○安曇野Instagramフォトコンテスト2022	「安曇野地域に「行きたい」「見たい」「食べたい」と思う作品を募集します」 応募期間：2022年5月1日～12月18日	募集部門：私だけが知っている安曇野部門 / サイクリング部門 / 山部門
○北アルプス登山道を未来につなぐための取り組み	「北アルプストレイルプログラム～昨年度に引き続き、北アルプス南部地域（長野県側）の登山道維持を目指した『協力金』の取り組みが始まります。」	登山道維持協力金：一口500円から、方法（クレジットカード決済、各山小屋での現金収受、銀行振込） 利用者参加制度 実施期間：2022年（令和4年）4月27日（水曜日）から
○令和4年度安曇野市「地域通訳案内士」養成講座	「安曇野市「地域通訳案内士養成講座」を開催します～世界水準の英語ガイドを目指してみませんか？安曇野市海外プロモーション協議会（事務局：安曇野市）では、語学力を活かして、世界水準のガイドイングができる人材を養成する、地域通訳案内士養成講座を開催します。「地域通訳案内士制度」とは、外国語を用いて、旅行に関する案内を行うガイドの国家資格である全国通訳案内士に準ずるもので、定められた地域内において各自自治体が独自に定める外国語ガイド資格です。」	開催講座： 1.City Guide コース（安曇野市街地） 2.Hiking Guide コース（安曇野市街地およびパノラマ銀座） 一定の成績を修め、条件を満たした方には、安曇野市地域通訳案内士資格が付与されます。
○安曇野市観光課公式 SNS	「山岳観光をサポートしていきます！」	フェイスブック / ツイッター
○やさいスイーツフェア 2022 参加店舗募集中	「安曇野やさいスイーツフェア 2022 に参加する店舗を募集します」 2022年のテーマ：ウチの店自慢の安曇野産野菜 推奨野菜：夏秋イチゴ / 陸わさび / 玉ねぎ / ズッキーニ / アスパラ	「やさいスイーツ」の定義： ・安曇野産の野菜（安曇野市で収穫された野菜）を1種類以上、原材料に使用 ・使用された安曇野産の野菜が、味として表現 ・スイーツは、オリジナルのレシピによる商品
○ Silk Idea Competition - TENSAN- 2022 in AZUMINO	「安曇野市の観光資源である「穂高天蚕糸」を国内外のより多くの人達に認知してもらうことを目的に、アパレルデザイン専攻の学生を中心とした天蚕に興味のある若い世代との交流事業および天蚕の商品化につながるビジネスプランの企画作成を行います。」	グループワーク / ビジネスプラン審査会・発表会 主催：安曇野市海外プロモーション協議会
○第8回信州安曇野ハーフマラソン2022	開催日：2022年6月5日（日） 種目：ハーフマラソン（21.0975km） （同時開催：ファミリーラン（2km）） コース：豊科南部総合公園（スタート・フィニッシュ）	申込者数：ハーフマラソン6,038人、ファミリーラン345人

名称	概要	備考
○あづみ野ガラス グラスデザインコンテスト	「あづみ野ガラス工房にて、オリジナルのグラスデザインを募集します。選定されたデザインを基にスタッフが実際に制作し、あづみ野ガラス工房にて展示した後、応募者にお渡しします。」 対象：安曇野市在住の方	
○北アルプスと安曇野の 100 年 (インスタグラム投稿企画)	「安曇野市山岳観光推進実行委員会では、市の平地・山岳観光の魅力および山岳観光の歴史を再発見、発信することを目的として、みなさまから過去と現在の写真をエピソードとともに募集します。みなさまの安曇野と北アルプスの思い出を、写真とともにお聞かせください。」	主催：安曇野市山岳観光推進実行委員会
○「朝が好きになる街」安曇野	「「安曇野に住んでいて、いちばん好きな時間帯は？」の問いに、市民の皆さんから「朝」への思い入れがひと際強いことがフィールド調査からわかりました。青空を背景にした北アルプスの山々。その裾野に広がる安曇野の田園風景、美しい水、農作物、温かい人々。そして「朝」というキーワード。「爽やかな」イメージにも重なる「朝」というテーマで安曇野のいいところを強みに変え、市のイメージアップや今後の観光振興に生かしていきます。」	「安曇野の朝」徹底撮影ガイドの公表、「朝が好きになる街」ロゴマークの制定など
○第 64 回日本観光ポスターコンクール入賞	「日本観光振興協会が主催する「第 64 回日本観光ポスターコンクール」の審査結果が発表され、安曇野市で作成した観光ポスター「朝が好きになる街 安曇野」（4 枚組）が入賞作品に選ばれました。」	
○安曇野の飲食店や宿泊施設を応援しよう（各種販促／市・県）	安曇野市：各種クーポン券等 長野県：信州の地酒販売促進キャンペーン事業 / 信州プレミアム食事券 / 信州割 SPECIAL など	信州の安心なお店応援キャンペーン など
○安曇野つなぐプロジェクト（「安曇野 3 安（さんあん）宣言」等）	「このプロジェクトは、市と市商工会、市観光協会が連携して取り組む新型コロナ感染症拡大に伴う地域経済活性化事業と、市内事業者への感染症拡大防止対策の推進事業を一連の活動として展開します。国が示す「新たな生活様式」を踏まえながら、安曇野市版「新たな日常」モデルの核となる地域一体となった取り組みとして、市内事業者の皆さんに「3 安のまち安曇野」を宣言を呼びかけ、市内外へ発信します。」	

資料：市ホームページ

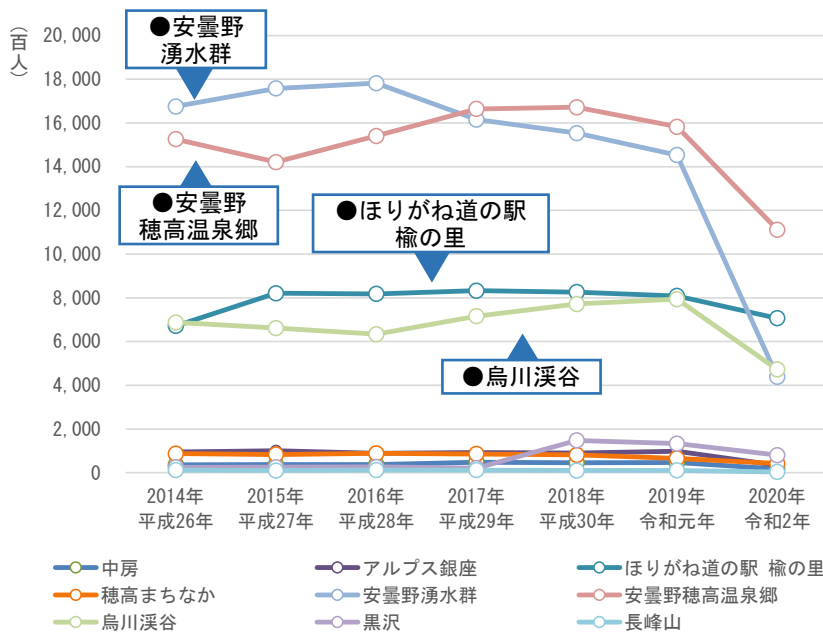
5. 市の観光動向

主要観光地の中でも、「安曇野湧水群」「安曇野穂高温泉郷」「ほりがね道の駅 榎の里」「烏川渓谷」といったスポットが、多くの利用客を集めています。

観光消費額では、「安曇野穂高温泉郷」や「烏川渓谷」の消費額が比較的高くなっています。

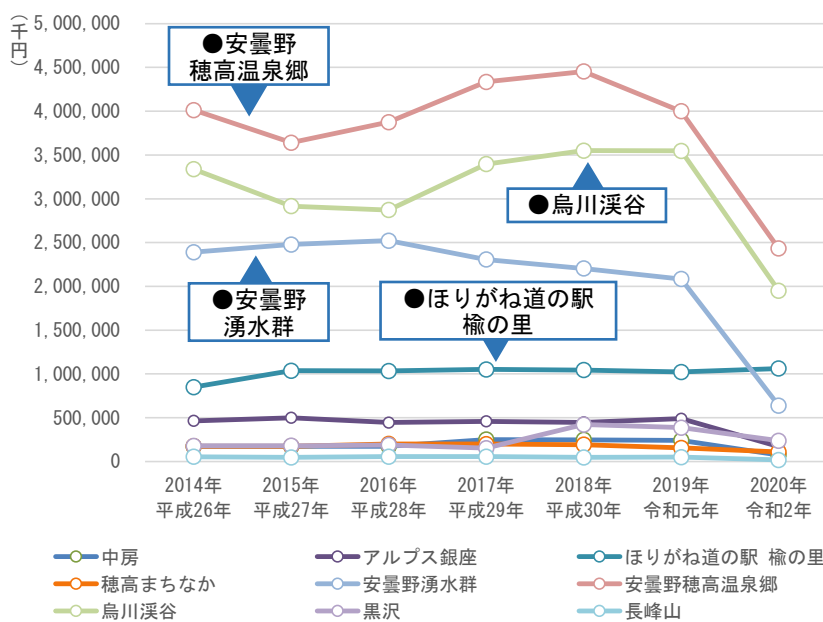
なお、令和2年においては新型コロナウイルスの影響から、いずれの観光地においても、利用客・観光消費額ともに大きく落ち込んでいます。

◇市内主要観光地の延利用者数推移



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇市内主要観光地の観光消費額推移



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇市内主要観光地の延利用者数推移

(単位：百人)

	中房	アルプス 銀座	ほりがね 道の駅 楡の里	穂高まち なか	安曇野 湧水群	安曇野穂 高温泉郷	烏川溪谷	黒沢	長峰山
2014年 平成26年	364	945	6,718	878	16,755	15,261	6,877	250	118
2015年 平成27年	372	1,004	8,210	837	17,581	14,212	6,618	252	102
2016年 平成28年	377	894	8,184	888	17,821	15,405	6,333	266	120
2017年 平成29年	482	922	8,328	860	16,157	16,639	7,161	214	120
2018年 平成30年	460	898	8,262	816	15,536	16,720	7,717	1,480	102
2019年 令和元年	464	982	8,087	658	14,532	15,827	7,941	1,334	108
2020年 令和2年	176	342	7,066	418	4,384	11,117	4,726	807	38

資料：長野県観光地利用者統計調査

◇市内主要観光地の観光消費額推移

(単位：千円)

	中房	アルプス 銀座	ほりがね 道の駅 楡の里	穂高まち なか	安曇野 湧水群	安曇野穂 高温泉郷	烏川溪谷	黒沢	長峰山
2014年 平成26年	172,174	464,520	848,485	174,273	2,390,599	4,012,360	3,337,351	177,665	54,198
2015年 平成27年	173,004	499,138	1,036,924	173,138	2,478,525	3,640,161	2,915,373	179,088	46,848
2016年 平成28年	172,201	444,454	1,033,639	199,931	2,521,396	3,875,603	2,871,728	189,032	55,116
2017年 平成29年	250,321	458,674	1,051,828	198,807	2,305,855	4,335,831	3,396,654	152,081	55,117
2018年 平成30年	246,724	446,441	1,043,490	191,402	2,203,335	4,453,583	3,550,276	421,623	46,850
2019年 令和元年	241,862	488,200	1,021,390	154,891	2,084,490	4,000,136	3,547,358	386,628	49,607
2020年 令和2年	74,916	170,025	1,062,020	108,970	638,401	2,432,890	1,950,110	236,360	17,455

資料：長野県観光地利用者統計調査

◇県内主要観光地（延利用者数上位50位）の状況

(単位:千人、%)

順位			市町村名	観光地名	延利用者数			対前年増減	対前年増減比
H30年	R元年	R2年			H30年	R元年	R2年		
1	1	1	軽井沢町	軽井沢高原	8,707	8,423	5,144	△3,279	△ 38.9
2	2	2	長野市	善光寺	6,286	6,271	3,349	△2,923	△ 46.6
3	3	3	諏訪市	上諏訪温泉・諏訪湖	4,010	4,008	2,408	△1,600	△ 39.9
4	4	4	山ノ内町	志賀高原・北志賀高原	3,201	3,188	2,282	△ 906	△ 28.4
6	5	5	白馬村	白馬山麓	2,179	2,376	1,694	△ 683	△ 28.7
5	6	6	諏訪市	霧ヶ峰高原	2,285	2,242	1,564	△ 678	△ 30.2
7	7	7	立科町・茅野市	東白樺湖・白樺湖	2,005	2,073	1,205	△ 867	△ 41.8
8	8	8	安曇野市	安曇野穂高温泉郷	1,672	1,583	1,112	△ 471	△ 29.8
9	13	9	長野市	戸隠高原	1,579	1,361	1,036	△ 324	△ 23.8
12	9	10	茅野市	蓼科	1,495	1,481	1,004	△ 477	△ 32.2
18	16	11	諏訪市・下諏訪町	諏訪大社	1,088	1,167	906	△ 262	△ 22.4
20	19	12	東御市	道の駅電ぐるみの里	1,025	971	765	△ 205	△ 21.1
16	17	13	山ノ内町	湯田中渋温泉郷	1,194	1,131	720	△ 411	△ 36.3
13	14	14	上田市・長和町・松本市	美ヶ原高原	1,389	1,293	709	△ 584	△ 45.2
23	24	15	安曇野市	ほりがね道の駅・楡の里	826	809	707	△ 102	△ 12.6
11	11	16	上田市	上田城跡	1,513	1,432	670	△ 762	△ 53.2
27	27	17	野沢温泉村	野沢温泉	720	701	606	△ 95	△ 13.6
26	26	18	大町市	仁科三湖	730	731	593	△ 138	△ 18.9
21	20	19	千曲市	戸倉上山田温泉	970	943	532	△ 411	△ 43.6
55	59	20	富士見町	富士見高原	386	351	529	178	50.7
25	28	21	立科町	蓼科牧場	763	670	523	△ 147	△ 22.0
24	25	22	安曇野市	鳥川溪谷	772	794	473	△ 322	△ 40.5
28	29	23	上田市	別所温泉	687	665	444	△ 220	△ 33.2
10	10	24	安曇野市	安曇野湧水群	1554	1,453	438	△1,015	△ 69.8
29	30	25	茅野市	車山高原	662	656	436	△ 220	△ 33.5
15	15	26	松本市	上高地	1238	1,241	427	△ 814	△ 65.6
38	36	27	中野市・飯山市	斑尾高原	574	576	423	△ 153	△ 26.6
—	51	28	豊丘村	道の駅南信州とよおかマルシェ	—	419	415	△ 4	△ 0.9
37	35	29	伊那市	伊那西部高原	583	586	411	△ 175	△ 29.9
30	31	30	下諏訪町	八島高原	656	635	407	△ 229	△ 36.0
43	41	31	高山村	信州高山温泉郷	529	522	406	△ 116	△ 22.2
52	23	32	佐久市	佐久平	451	828	384	△ 444	△ 53.6
22	21	33	松本市	松本城	888	912	378	△ 535	△ 58.6
48	48	34	木曾町	木曾福島	479	450	376	△ 74	△ 16.3
32	38	35	松川村	安曇野すずむしの里	635	571	366	△ 206	△ 36.0
—	56	36	青木村	道の駅あおき	—	388	361	△ 28	△ 7.1
46	44	37	須坂市	臥竜公園	514	512	356	△ 157	△ 30.5
33	33	38	松本市	浅間温泉	632	596	350	△ 246	△ 41.2
50	55	39	小諸市	高峰高原	473	393	349	△ 44	△ 11.2
40	40	40	東御市	湯の丸高原	555	548	346	△ 203	△ 37.0
44	46	41	小谷村	榑池高原	528	497	334	△ 163	△ 32.8
35	37	42	阿智村	昼神温泉	602	575	334	△ 242	△ 42.0
45	42	43	松本市	美ヶ原温泉郷	526	516	327	△ 189	△ 36.6
47	45	44	富士見町・伊那市	入笠山	506	504	311	△ 192	△ 38.2
51	47	45	松本市	乗鞍高原	470	453	311	△ 142	△ 31.4
60	58	46	佐久市	道の駅ヘルシーラッス佐久南	339	363	304	△ 59	△ 16.4
31	32	47	南箕輪村	大芝高原	645	597	299	△ 298	△ 49.8
39	39	48	駒ヶ根市・宮田村	駒ヶ根高原	559	551	289	△ 262	△ 47.5
65	63	49	飯田市	天龍峡・天竜川下り	311	332	254	△ 78	△ 23.5
19	22	50	大町市	黒部ダム	1048	901	250	△ 651	△ 72.3

また、市内の主要観光地については、県内でも有数の利用者数規模となっていることから、当市の観光地としてのポテンシャルを有する裏付けとなっています。また、複数の観光地が上位にあることから、多様な魅力を有していることがわかります。

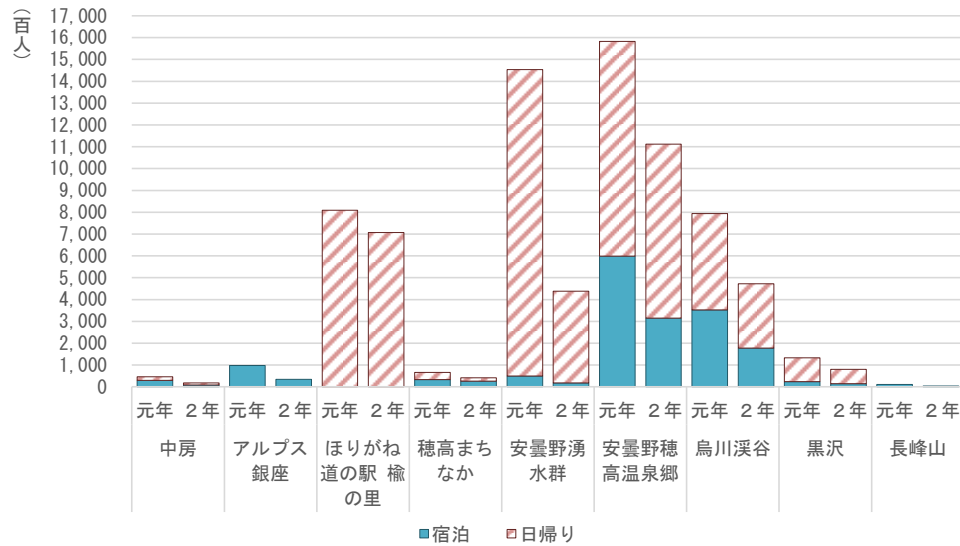
●：安曇野市

資料：長野県観光地利用者統計調査

観光利用者数の内訳を見ると、宿泊を伴う来訪が多い観光地としては、「安曇野穂高温泉郷」「烏川溪谷」が挙げられる。

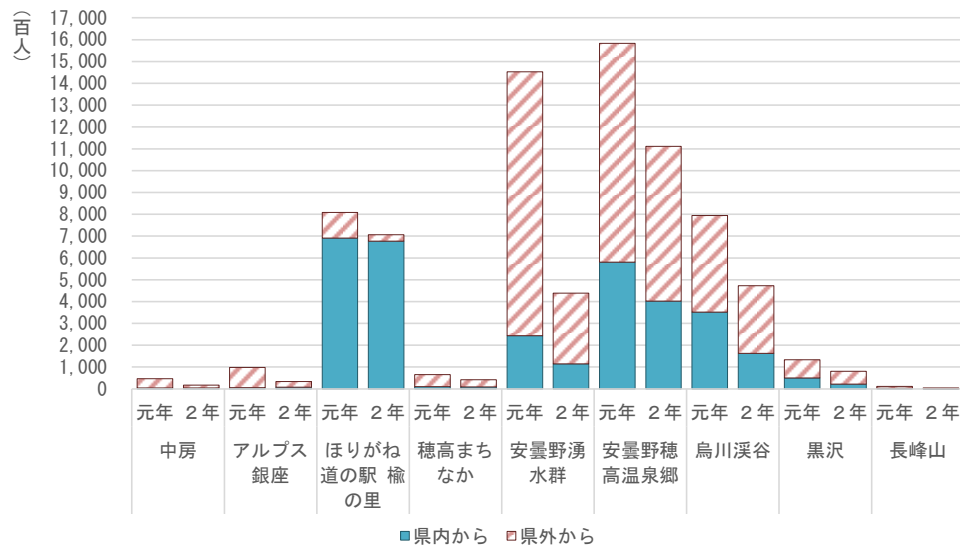
また、県内からの来訪者割合が高いのが「ほりがね道の駅 榎の里」、一方、「安曇野穂高温泉郷」「安曇野湧水群」「烏川溪谷」などについては、県外からの来訪割合が高く、県内外からの認知度・来訪ニーズが高いスポットとなっています。

◇市内主要観光地の延利用者数推移＜宿泊／日帰り＞（R元・2年）



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇市内主要観光地の延利用者数推移＜県内／県外＞（R元・2年）



資料：長野県観光地利用者統計調査

◇市内主要観光地の延利用者数推移＜宿泊・日帰り別 / 県内・県外別＞（R元・2年）

（単位：百人）

		合計	宿泊・日帰り別		県内・県外別	
			宿泊	日帰り	県内から	県外から
中房	元年	464	294	170	46	418
	2年	176	86	90	41	135
アルプス銀座	元年	982	982	0	55	927
	2年	342	342	0	75	267
ほりがね道の駅 楡の里	元年	8,087	0	8,087	6,910	1,177
	2年	7,066	0	7,066	6,774	292
穂高まちなか	元年	658	330	328	106	552
	2年	418	260	158	86	332
安曇野湧水群	元年	14,532	502	14,030	2,438	12,094
	2年	4,384	176	4,208	1,152	3,232
安曇野穂高	元年	15,827	5,992	9,835	5,811	10,016
	2年	11,117	3,150	7,967	4,027	7,090
温泉郷	元年	7,941	3,526	4,415	3,523	4,418
	2年	4,726	1,774	2,952	1,626	3,100
黒沢	元年	1,334	240	1,094	495	839
	2年	807	150	657	215	592
長峰山	元年	108	108	0	30	78
	2年	38	38	0	11	27

資料：長野県観光地利用者統計調査

月別の利用者動向を見ると、冬季間の利用ができない山岳系の観光を除き、おおむね通年で利用されています。春から夏、秋にかけて、比較的長い観光需要・期間を有しています。

◇市内主要観光地の延利用者数推移＜月別＞（R元・2年）

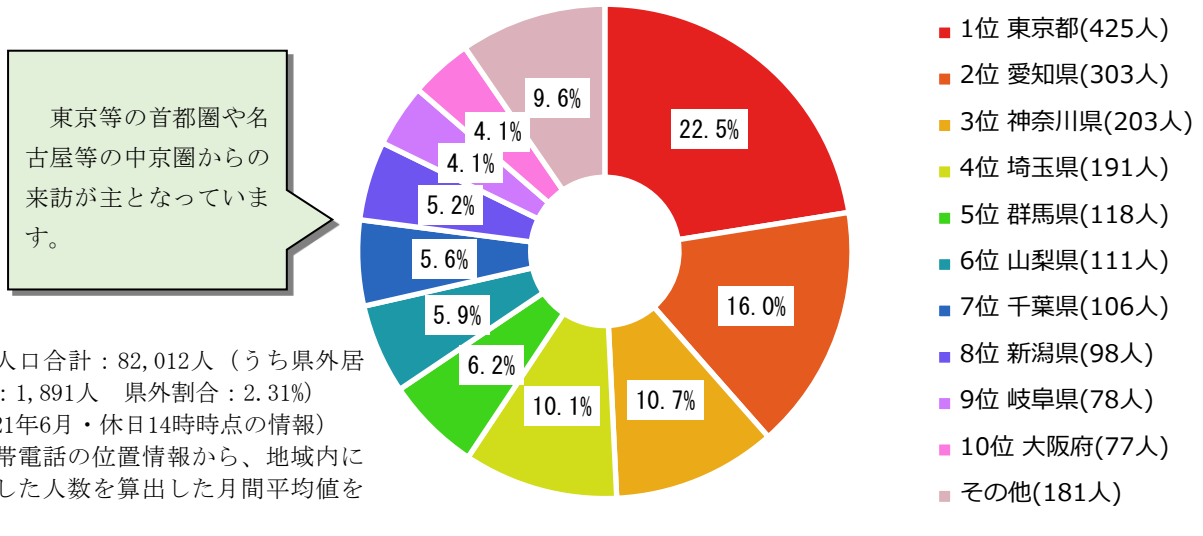
（単位：百人）

		合計	増減 (R元→2)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中房	元年	464	-	0	0	0	21	28	27	97	120	94	43	34	0
	2年	176	△ 288	0	0	0	0	0	2	16	62	46	32	18	0
アルプス銀座	元年	982	-	6	0	0	26	58	24	224	338	190	74	32	10
	2年	342	△ 640	6	0	0	0	0	0	28	128	94	66	18	2
ほりがね道の駅 楡の里	元年	8,087	-	365	472	676	757	971	725	618	787	685	650	716	665
	2年	7,066	△ 1,021	384	465	584	489	710	647	577	673	638	662	658	579
徳高まちなか	元年	658	-	28	27	38	56	80	56	68	100	71	60	52	22
	2年	418	△ 240	21	33	35	21	18	31	41	52	45	49	49	23
安曇野湧水群	元年	14,532	-	625	616	816	904	1,379	1,071	2,173	3,161	1,443	996	829	519
	2年	4,384	△ 10,148	535	430	277	40	1	249	329	656	547	547	514	259
安曇野徳高 温泉郷	元年	15,827	-	908	806	1,246	1,223	1,575	1,143	1,417	2,479	1,491	1,292	1,362	885
	2年	11,117	△ 4,710	765	674	679	276	349	714	918	1,394	1,120	1,425	1,449	1,354
烏川溪谷	元年	7,941	-	315	218	267	732	1,550	563	563	1,192	683	582	702	574
	2年	4,726	△ 3,215	335	201	141	136	92	223	300	791	535	622	761	589
黒沢	元年	1,334	-	50	43	75	120	150	121	123	206	137	123	123	63
	2年	807	△ 527	46	56	49	16	14	22	75	119	108	130	129	43
長峰山	元年	108	-	2	0	2	6	14	12	14	32	12	6	6	2
	2年	38	△ 70	2	2	2	0	0	2	4	12	6	4	4	0

資料：長野県観光地利用者統計調査

ビッグデータ（主にインターネット上に存在するデータ群）から見た、本市観光の姿、特徴は次のようになっています。

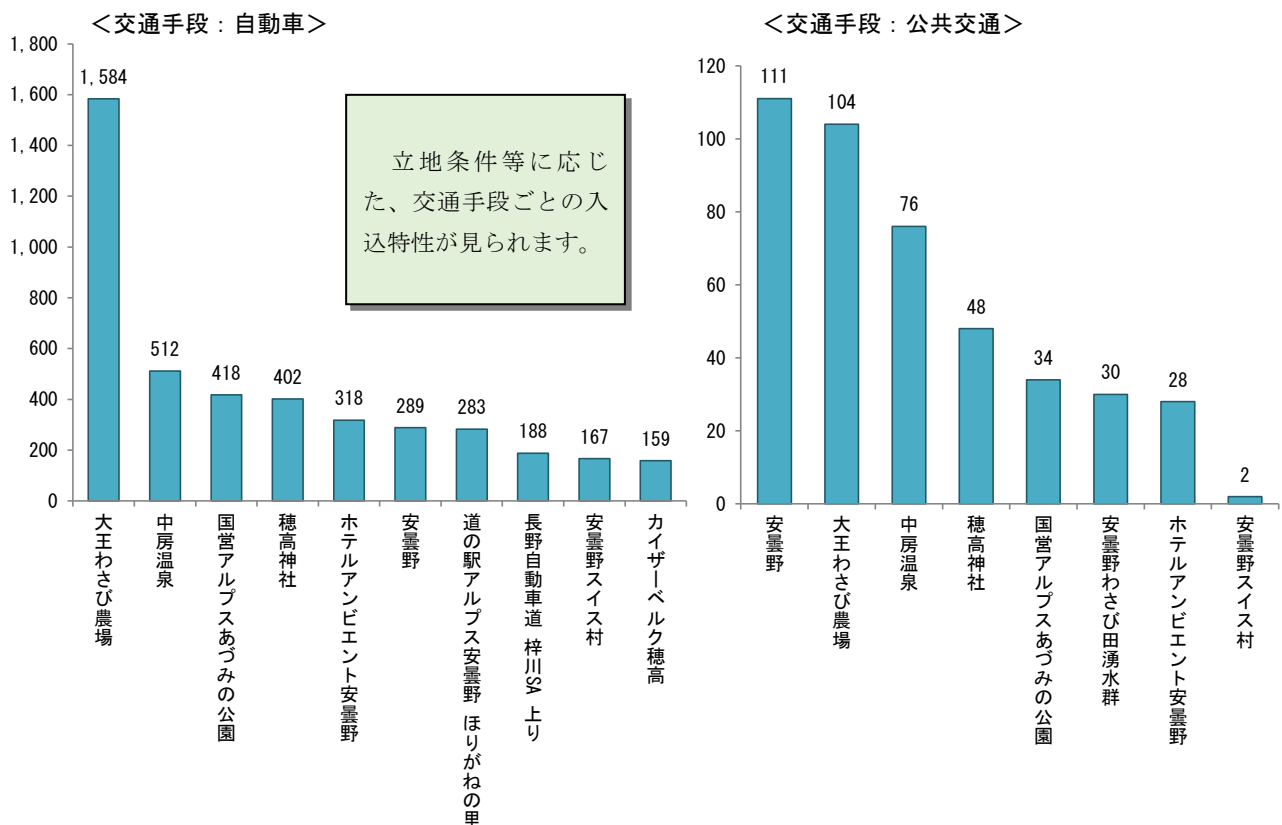
◇滞在者（県外居住者）の地域別構成



滞在人口合計：82,012人（うち県外居住者：1,891人 県外割合：2.31%）
 （2021年6月・休日14時時点の情報）
 ※携帯電話の位置情報から、地域内に滞在した人数を算出した月間平均値を使用。

資料：RESAS(地域経済分析システム)

◇観光施設等を目的地とした検索回数ランキング

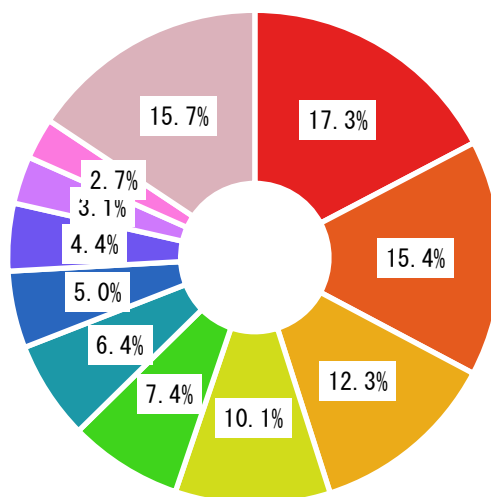


（2020年・休日）交通検索事業者の経路検索条件データをもとに地域内の観光資源に関連する検索ワードに該当するものを表示。

資料：RESAS(地域経済分析システム)

◇居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成

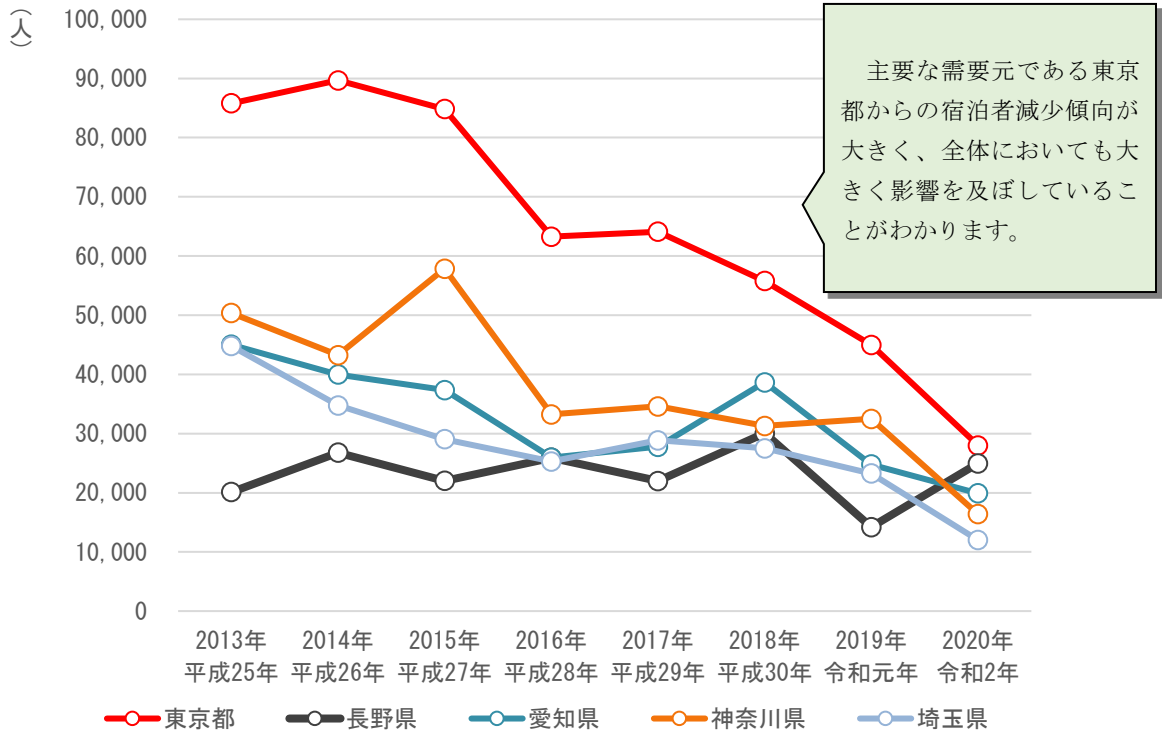
県外では、首都圏、中京・関西圏といった大規模都市圏からの宿泊需要が多くなっています。



- 1位 東京都(28,008人)
- 2位 長野県(24,971人)
- 3位 愛知県(19,913人)
- 4位 神奈川県(16,391人)
- 5位 埼玉県(12,020人)
- 6位 大阪府(10,418人)
- 7位 兵庫県(8,158人)
- 8位 千葉県(7,142人)
- 9位 京都府(5,025人)
- 10位 岐阜県(4,363人)
- その他(25,317人)

「観光予報プラットフォーム」による実績に基づく算出データ（データソース非公開）。
資料：RESAS(地域経済分析システム)

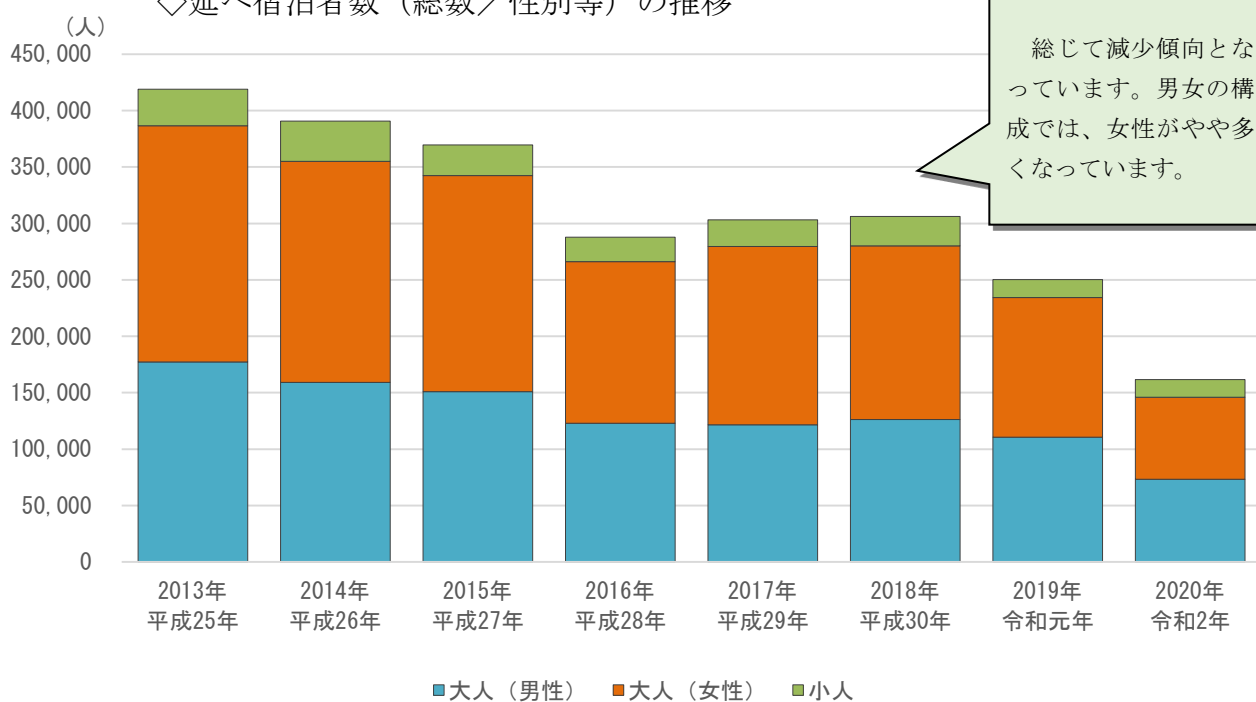
◇居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移



	東京都	長野県	愛知県	神奈川県	埼玉県
2013年 平成25年	85,789	20,117	45,012	50,361	44,800
2014年 平成26年	89,669	26,769	39,992	43,254	34,772
2015年 平成27年	84,839	22,009	37,364	57,864	29,060
2016年 平成28年	63,262	25,909	25,940	33,244	25,289
2017年 平成29年	64,112	21,992	27,782	34,598	28,874
2018年 平成30年	55,789	30,053	38,660	31,289	27,516
2019年 令和元年	44,976	14,202	24,768	32,489	23,266
2020年 令和2年	28,008	24,971	19,913	16,391	12,020

「観光予報プラットフォーム」による実績に基づく算出データ（データソース非公開）。
資料：RESAS(地域経済分析システム)

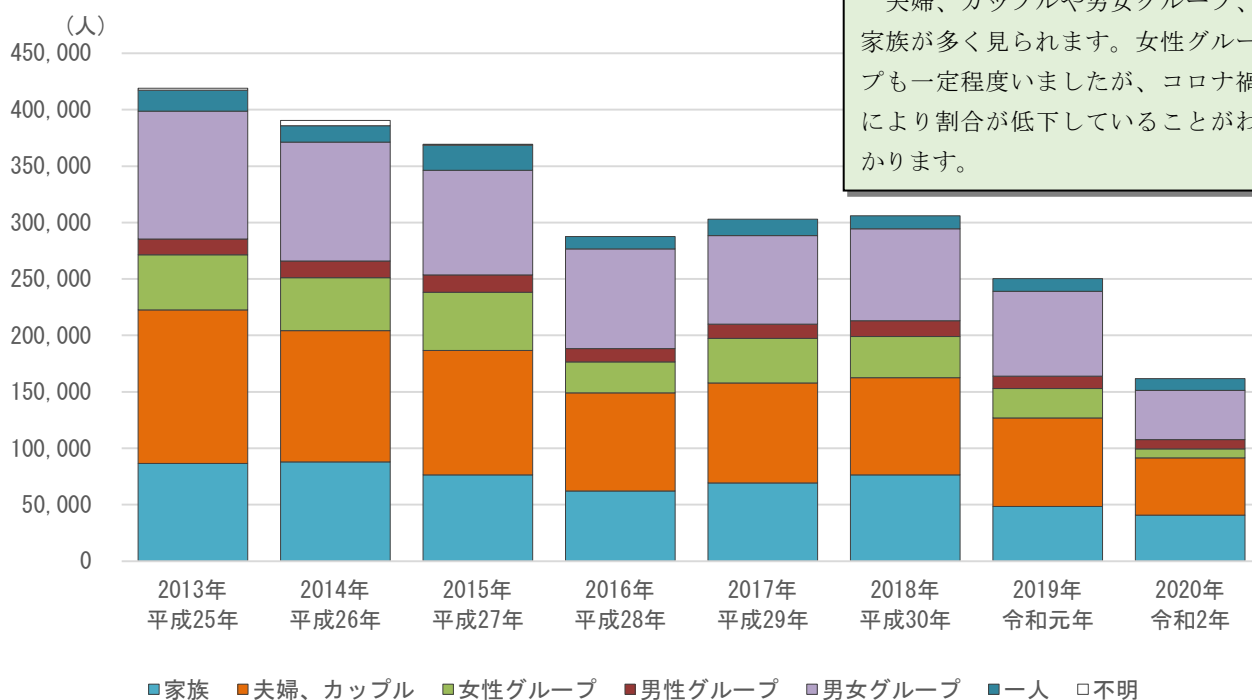
◇延べ宿泊者数（総数／性別等）の推移



	大人（男性）	大人（女性）	小人	合計
2013年 平成25年	177,184	209,487	32,362	419,033
2014年 平成26年	159,147	195,879	35,542	390,568
2015年 平成27年	150,913	191,533	27,031	369,477
2016年 平成28年	122,974	143,016	21,720	287,710
2017年 平成29年	121,687	157,823	23,600	303,110
2018年 平成30年	126,324	153,860	25,901	306,085
2019年 令和元年	110,531	123,745	15,937	250,213
2020年 令和2年	73,336	72,678	15,698	161,712

「観光予報プラットフォーム」による実績に基づく算出データ（データソース非公開）。
 ※宿泊実績サンプリングデータに基づく算出のため、合計が他区分と一致しない場合がある。
 資料：RESAS(地域経済分析システム)

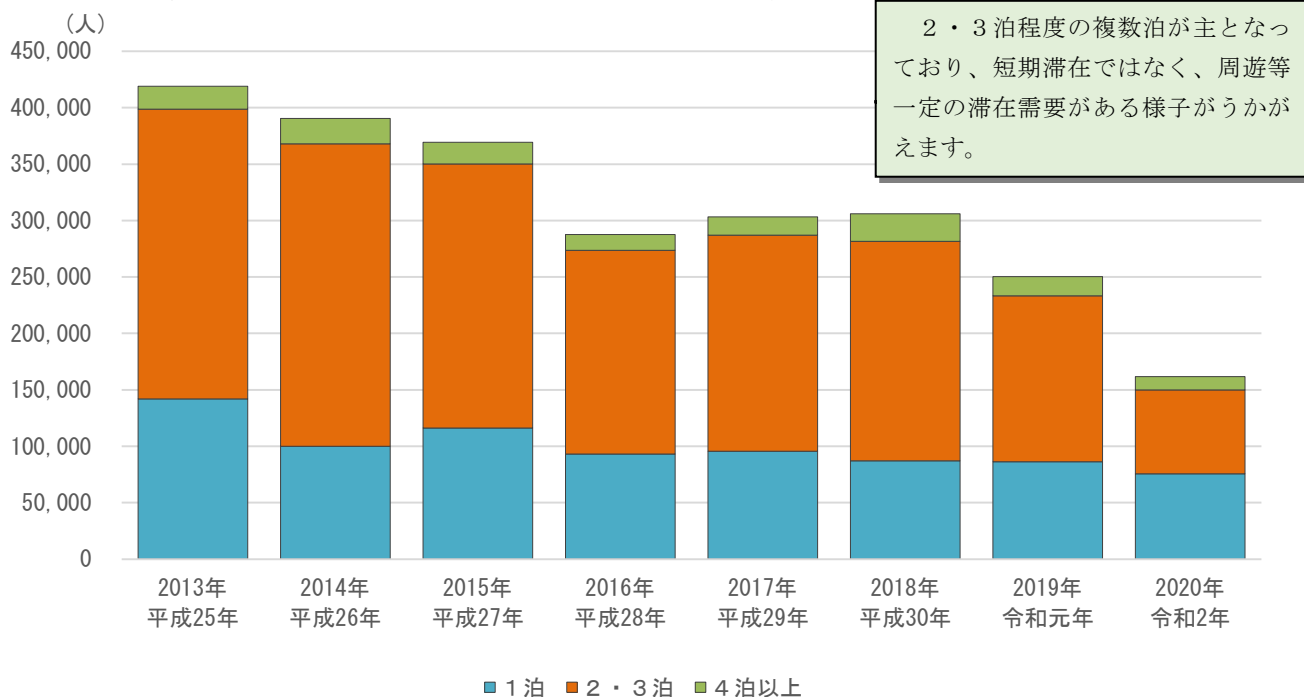
◇延べ宿泊者数（総数／参加形態別）の推移



	家族	夫婦、カップル	女性グループ	男性グループ	男女グループ	一人	不明	合計
2013年 平成25年	86,564	135,986	48,975	13,871	113,422	18,455	1,764	419,037
2014年 平成26年	87,990	116,228	47,027	14,608	105,476	14,378	4,869	390,576
2015年 平成27年	76,395	110,262	51,596	15,446	92,701	22,205	851	369,456
2016年 平成28年	62,123	87,020	27,355	11,809	88,320	11,047	-	287,674
2017年 平成29年	69,233	88,743	39,416	12,554	78,618	14,535	-	303,099
2018年 平成30年	76,358	86,281	36,477	14,021	81,236	11,733	-	306,106
2019年 令和元年	48,444	78,482	26,078	11,017	74,936	11,239	-	250,196
2020年 令和2年	40,716	50,807	7,861	8,269	43,737	10,332	-	161,722

「観光予報プラットフォーム」による実績に基づく算出データ（データソース非公開）。
 ※宿泊実績サンプリングデータに基づく算出のため、合計が他区分と一致しない場合がある。
 資料：RESAS(地域経済分析システム)

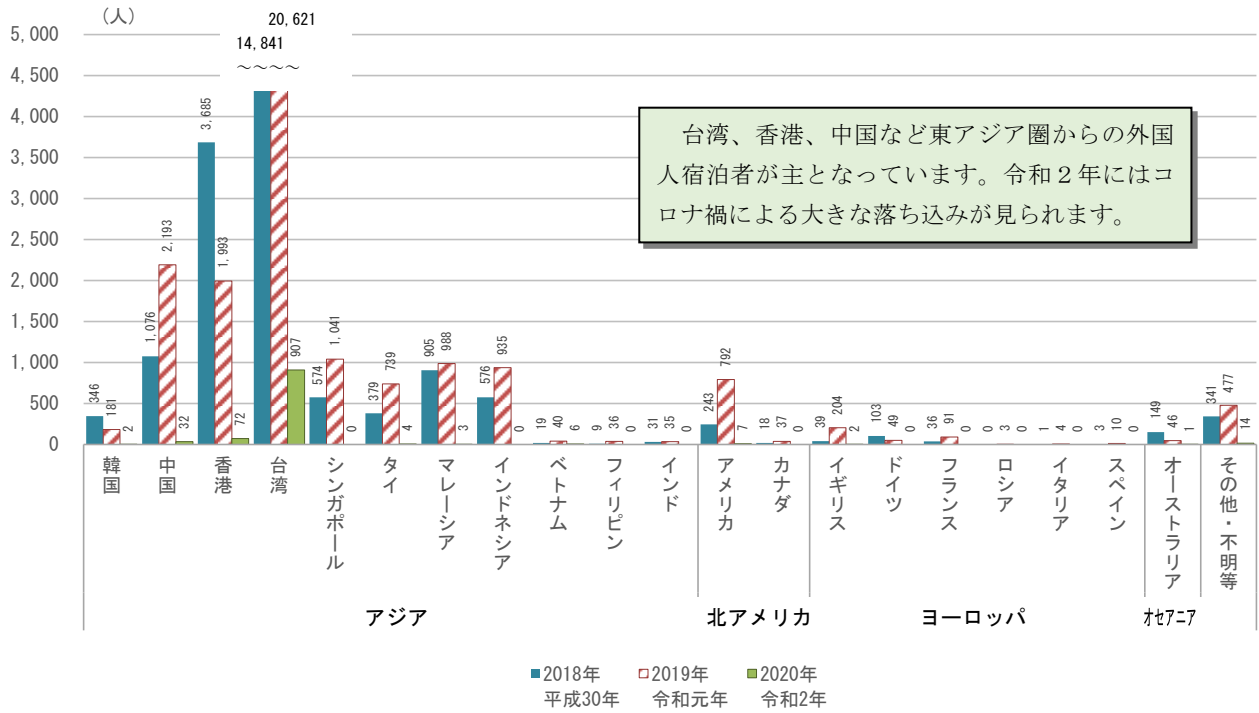
◇延べ宿泊者数（総数／宿泊日数別）の推移



	1泊	2・3泊	4泊以上	合計
2013年 平成25年	141,987	256,773	20,280	419,040
2014年 平成26年	99,999	267,923	22,650	390,572
2015年 平成27年	116,084	234,186	19,193	369,463
2016年 平成28年	93,176	180,411	14,093	287,680
2017年 平成29年	95,583	191,425	16,123	303,131
2018年 平成30年	87,111	194,538	24,447	306,096
2019年 令和元年	86,313	146,998	16,899	250,210
2020年 令和2年	75,558	74,374	11,768	161,700

「観光予報プラットフォーム」による実績に基づく算出データ（データソース非公開）。
 ※宿泊実績サンプリングデータに基づく算出のため、合計が他区分と一致しない場合がある。
 資料：RESAS(地域経済分析システム)

◇外国人／国別の延べ宿泊者数（外国人）の推移



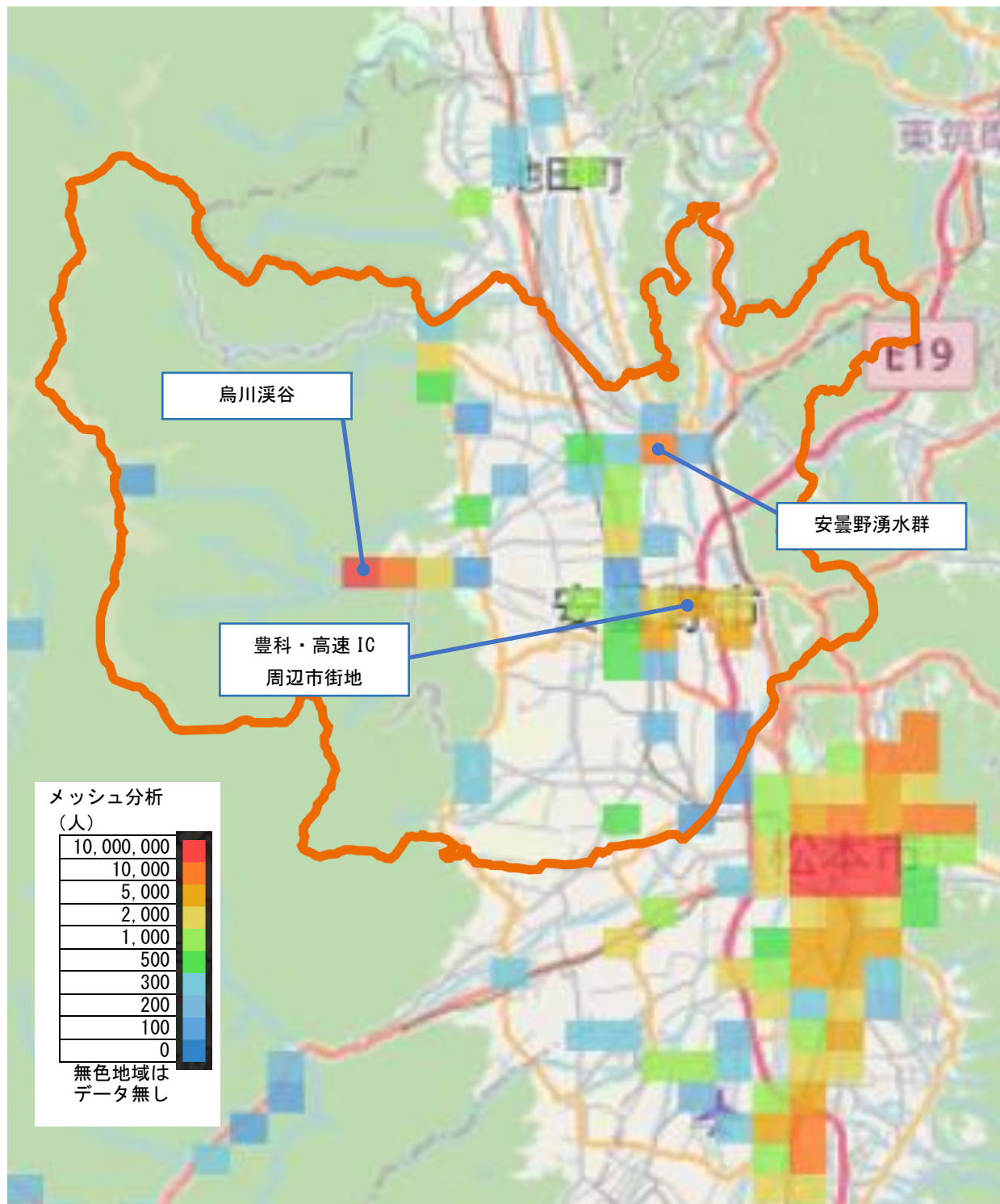
	アジア										
	韓国	中国	香港	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム	フィリピン	インド
2018年 平成30年	346	1,076	3,685	14,841	574	379	905	576	19	9	31
2019年 令和元年	181	2,193	1,993	20,621	1,041	739	988	935	40	36	35
2020年 令和2年	2	32	72	907	0	4	3	0	6	0	0

	北アメリカ		ヨーロッパ						オセアニア	その他・不明等	合計
	アメリカ	カナダ	イギリス	ドイツ	フランス	ロシア	イタリア	スペイン	オーストラリア		
2018年 平成30年	243	18	39	103	36	0	1	3	149	341	23,374
2019年 令和元年	792	37	204	49	91	3	4	10	46	477	30,515
2020年 令和2年	7	0	2	0	0	0	0	0	1	14	1,050

資料：安曇野市観光課（外国人延宿泊者数調査）

外国人の市内滞在状況としては、各所に分散傾向にあり、市街地の南北軸のほか、宿泊施設のある「烏川溪谷」や大王わさび農場を中心とした「安曇野湧水群」といった観光スポット・エリアにも一定の集中が見られます。

◇外国人／滞在位置情報の動向



※「モバイル空間統計®」(C) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC.
携帯電話位置情報に基づく1kmメッシュ・年間(2017年8月~2018年7月)の滞在延べ人数データ
(データソース非公開)。

資料：RESAS(地域経済分析システム)